

教育研究業績目録

2002.1～2002.12

1. 本業績目録は各教官より提出されたものを収録した。
2. 収録期間は2002年1月から2002年12月までに刊行(発表)されたものとした。
3. 著者(発表者)については、本学科教官に下線をつけて表示した。

岡山大学医学部保健学科教育研究業績目録編集要綱

制定 平成11年 3 月15日

改正 平成11年10月 4 日

平成11年11月24日

1. 業績目録は、以下の分類により収録する。

- 1) 著 書 : 共著, 分担執筆, 訳書, 共訳を含む。
- 2) 論 文 等 : 論壇, 総説, 原著, 短報, 報告, 資料等。
- 3) 学会発表等 : 抄録が公的な雑誌に掲載されているか, 公的な抄録集が発行されているものとする。
- 4) 講 演 : 学会における特別講演, 団体からの依頼講演。

2. 収録期間, 収録範囲

- 1) 収録期間は本誌発行の前年(1月1日～12月31日)とする。
- 2) 収録範囲は本学科に在籍中に公表したものを原則とする。

3. 業績目録記載方法

1) 著書及び論文等

著者名は全員記載する。その他は紀要執筆要領に準じる。

2) 学会発表等

発表者(全員), 題名, 発表学会, 学会年月, 発表都市名を記載する。

3) 講演

講演者, 題名, 講演集会名, 講演年月, 講演都市名を記載する。

I. 著 書

著 書 名	書 名	発 行 者	発行年
1. 川口 毅, 柳川 洋, 谷原真一, <u>川田智恵子</u> , 平野 互, 川上憲人, 嶋本 喬, 青山英康, 大久保一郎, 住友真佐美, 野崎直彦, 中村正和, 岡山 明, 中森寛二, 星山佳治, 神田 晃, 渡辺由美, 神山吉輝	老人保健事業評価マニュアル第4次計画	厚生労働省老健局老 人保健課 (東京)	2002
2. <u>川田智恵子</u> , 田中久恵 (分担執筆)	訪問指導マニュアル(訪問指導マニュアルワー キンググループ著) 対象者の把握方法の実際 P 16-30	保健同人社 (東京)	2002
3. <u>川田智恵子</u> (分担執筆)	糖尿病療養指導二頁の秘訣 ー私はこう指導するー(春日雅人, 羽倉稜子編) 「患者との共同ケア」を強調することにより見 えてくること P 56-57	金原出版 (東京)	2002
4. <u>川田智恵子</u> (分担執筆)	糖尿病ナーシング(福田哲也編) 糖尿病患者のセルフケア(自己管理)へのサポー ト, 糖尿病治療・看護の展望 P 2-14, P 184-190	学習研究社 (東京)	2002
5. <u>奥田博之</u> , 工藤尚文	婦人科検査マニュアル: データの読み方から評 価まで(倉智博久編) 内視鏡検査・コルポスコピー P 27-32	医学書院 (東京)	2002
6. 小野成紀, 伊達 勲, 真鍋博明, 伊勢田恵一, 大本堯史, Loch Macdonald, <u>浅利正二</u>	脳血管攣縮17(貫井英明編) アデノウイルスによるヘムオキシゲナーゼ ー1遺伝子導入ラットの攣縮脳底動脈に対する 攣縮抑制効果 P 85-87	にゅーろん社 (東京)	2002
7. 伊勢田恵一, 伊達 勲, 真鍋博明, 西口充久, 小野成紀, 大本堯史, <u>浅利正二</u>	脳血管攣縮18(貫井英明編) Caspase inhibitor の脳血管攣縮に対する攣縮 抑制効果 P 88-91	にゅーろん社 (東京)	2002

8. 深井喜代子 基礎看護学3(深井喜代子編) メヂカルフレンド社 2002
(東京)
序章 看護技術とは
P 2-11

深井喜代子 第2章 様々な看護活動に共通する看護技術
I ヘルスアセスメント
P 46-94
9. 安酸史子(分担執筆) 系統看護学講座専門5 成人看護学[1]成人看護学総論(小松浩子, 井上智子編) 医学書院 2002
(東京)
第一部 成人の健康生活を促すための看護技術
第11章 慢性病患者への看護技術
P 270-285
10. 安酸史子 ナースビーンズ2002増刊 新人ナース・プリセプティ指導術(安酸史子編) メディカ出版 2002
(大阪)
第1章 新人ナースの心理 第2章 新人ナースを育てる環境づくり 第3章 新人ナースを成長させる 第4章 ケース・スタディ
P 12-144
11. 安酸史子(分担執筆) 糖尿病ナーシング(福田哲也編) 学習研究社 2002
(東京)
糖尿病患者の看護過程
P 170-182
12. 安酸史子(分担執筆) 糖尿病療養指導二頁の秘訣 金原出版 2002
-私はこう指導する-(春日雅人, 羽倉綾子編) (東京)
糖尿病患者のやれる気を高める
P 54-55
13. 岡野初枝, 住吉和子 他 2003年度版 看護師国家試験問題 解答・解説 メヂカルフレンド 2002
(東京)
「在宅看護論」
P 190-225
(分担執筆)
14. 岡野初枝, 住吉和子, 長宗典代, 川田智恵子 地域住民の健康と生活に関する基礎調査 御津 岡山大学医学部保健 2002
町住民の健康と生活-アンケート調査報告書- 学科地域看護学講座
(岡山)
15. 太田にわ, 足利久美子, 荒木暁子, 木原キヨ子, 竹岡政子, 谷 洋江, 寺島美紀子, 奈良間美保, 野村佳代, 松浦和代, 松田幸恵, 宮本ひろ子(分担執筆) 病いの子どもと家族が癒されるケア(太田にわ編) 西日本法規出版 2002
(岡山)
第II章 病いの子どもと家族への理解とケア
P 20-36

- | | | | | |
|-----|-----------------------|---|---|------|
| 16. | <u>Higuchi M</u> (単著) | Traditional Health Practices in Sri Lanka
P 1-232 | VU University Press,
Amsterdam, The
Netherlands | 2002 |
| 17. | <u>兵藤好美</u> (分担執筆) | 「今、ここ」にかかわる看護 (豊田久美子, 任
和子編)
「向老期」における脳卒中患者の喪失と悲嘆
P 137-150 | 朱鷺書房
(大阪) | 2002 |
| 18. | | 糖尿病ナーシング (福田哲也編集) | Gakken | 2002 |
| | <u>住吉和子</u> (分担執筆) | 血糖自己測定による血糖コントロール
P 15-17 | (東京) | |
| | <u>住吉和子</u> (分担執筆) | 糖尿病外来と継続看護
P 18-20 | | |
| 19. | <u>住吉和子</u> (分担執筆) | ナースビーンズ2002増刊 新人ナース・プリセ
プティ指導術 (安酸史子編)
キーワード: 自己効力を高める方法
P 71 | メディカ出版
(大阪) | 2002 |
| 20. | <u>大倉美穂</u> | 基礎看護学3 (深井喜代子編)
第3章 日常生活活動の場を整える看護技術
G排泄の援助
P 306-346 | メヂカルフレンド社
(東京) | 2002 |
| 21. | <u>渡邊久美</u> (分担執筆) | 生命倫理辞典 (近藤 均, 酒井明夫, 中里 巧,
森下直貴, 盛永審一郎編)
P 3-4 P 170-171 P 562-563 P 633 | 太陽出版
(東京) | 2002 |
| 22. | <u>草野恵美子</u> (分担執筆) | ナースビーンズ2002増刊 新人ナース・プリセ
プティ指導術 (安酸史子編)
キーワード: 役割移行
P 17 | メディカ出版
(大阪) | 2002 |
| 23. | <u>長宗典代</u> (翻訳) | コミュニティー・アズ・パートナー (金川克子,
早川一生監訳)
生態学的な関連
P 39-59 | 医学書院
(東京) | 2002 |
| 24. | <u>長宗典代</u> | ナースビーンズ2002増刊 新人ナース・プリセ
プティ指導術 (安酸史子編)
キーワード: リアリティショック
P 15 | メディカ出版
(大阪) | 2002 |

32. 加藤博和ら, 51名 (分担執筆) 放射線治療用語集(平岡真寛ら編) 中外医学社 (東京) in press
33. 腹部画像診断アトラス(腹部放射線研究会編) 腹部放射線研究会 (檀原) 2002
 浅川 徹, 安藤正明, 吉岡 保, 上者郁夫, 平木祥夫(分担執筆) 卵巣甲状腺腫性カルチノイドの1例 P 214-215
上者郁夫, 竹田芳弘, 杉田勝彦, 奥野恵子, 岩田寿美代, 平木祥夫, 長谷川幸清, 中村洋二郎, 工藤尚文, 濱崎周次, 能登原憲司 (分担執筆) Pseudo-Meigs 症候群を合併した広間膜線維腫の1例 P 202-203
34. 山岡聖典, 久保田一雄 自然と健康 温泉入浴法 日本ジャーナル出版 (東京) 2002
 P 120-127
35. Yamaoka K, Mifune T, Kojima S, Mori S, Shibuya K, Tanizaki Y, Sugita K Radiation and Homeostasis (Eds by Tsutomu Sugawara) Elsevier (Amsterdam) 2002
 Basic Study on the Radon Effects and the Thermal Effects in Radon Therapy P75-79
 Nomura T, Sakai K, Yamaoka K Elevation of Antioxidants in the Kidneys of Mice by Low-dose Irradiation and its Effects on Fe³⁺-NTA induced Kidney Damage P481-485
 Kojima S, Matsumori S, Ishida H, Takahashi M, Yamaoka K Possible Role of Elevation of Glutathione in Acquisition of Enhanced Immune Function of Mouse Splenocytes Exposed to Low-dose γ -rays P491-494
36. Yamaoka K, Nomura T, Kojima S Biological Effects of Low Dose Radiation Activation of Chemical Biological Defense Mechanisms and Alleviation of in vivo Oxidation Injury by Low Dose Radiation Environmental Science in press (Aomori)

Ishida H,
Nakayama K,
Kojima S,
Yamaoka K

Low-dose γ -rays Activate Immune Functions, Leading to Suppression of Tumor Growth

37. 臨床核医学－私たちはこう使う－(平木祥夫編) メジカルセンス 2002
(東京)
- 竹田芳弘 肝胆道・消化管シンチグラフィ P 136-138
- 竹田芳弘 肝細胞癌骨転移 P 156-158
- 竹田芳弘 多発性骨髄腫 P 159-161
- 竹田芳弘 大腿骨頭壊死 P 162-164
- 竹田芳弘 Paget 病 P 165-167
- 竹田芳弘 骨折 P 168-171
- 竹田芳弘 反応性関節炎 P 172-174
- 竹田芳弘 破壊性股関節炎 P 175-177
- 竹田芳弘 横紋筋融解症 P 178-180
- 竹田芳弘 悪性リンパ腫 P 182-184
- 竹田芳弘 サルコイドーシス P 185-187
- 竹田芳弘 肺癌 P 188-191
- 竹田芳弘 上咽頭癌再発 P 192-194

Ⅱ. 論文等

- | 著書名 | 論 題 | 雑誌名 | 発行年 |
|---|---------------------------|--|------|
| 1. <u>川田智恵子</u> | 根拠に基づいた糖尿病教育の取り組みをめざして | 日本糖尿病教育・看護学会誌
6(2): 15-21 | 2002 |
| 2. 岡田加奈子,
<u>川田智恵子</u> , 畑 栄一,
中村正和 | 受講した看護学生の「喫煙に関する授業」への受けとめ | 日本看護研究学会雑誌
25(1): 57-68 | 2002 |
| 3. <u>川田智恵子</u> , 川口 毅 | 老人保健事業における健康教育の取り組みに関する考察 | 保健事業第4次計画
推進のための技術的
事項に関する調査研
究事業報告書
168-173 | 2002 |

4. Tung C, Huang C, Kawata C The Effects of Different Environmental Education Programs on the Environmental Behavior of Seventh-Grade Students and Related Factors Journal of Environmental Health 2002
64(7): 24-29

5. 川田智恵子 よりよい健康づくりのために 学校保健のひろば 2002
26: 56-57

6. 奥田博之, 児玉順一 産婦人科手術における合併症管理のすべて 合併症への対応－排尿排便障害－ 臨床婦人科産科 2002
56(4): 577-579

7. Hashimoto I, Kodama J, Seki N, Hongo A, Yoshinouchi M, Okuda H, Kudo T Vascular endothelial growth factor-C expression and its relationship to pelvic lymph node status in invasive cervical cancer. British Journal of Cancer 2002
85(1): 93-97

8. 加藤久美子, 永田 博 ヒューマンリレーション看護実習による看護学生の患者・被介護者知覚の変化－不安, 自尊感情, 人生の目的感および健康統制の所在感を測定として－ Quality Nursing 2002
8: 435-442

9. 小野清美, 林 優子, 山岡聖典 慢性期および急性期病棟のアメニティに関する比較検討－岡山旭東病院の七夕行事における色彩の工夫と患者への癒しの試み－ 日本インテリア学会 論文報告集 2002
12: 43-47

10. 小野清美, 石田 玲, 渡邊久美, 林 優子, 加藤久美子 病院の七夕行事における癒しに関する実践活動－岡山大学歯科附属病院で行った事例から－ 癒しの環境 2002
17: 66-70

11. Urushihara N, Ariki N, Oyama T, Chouda Y, Yagi T, Inoue T, Tomiyama Y, Nishiuchi R, Oda M, Tanaka N Secondary Sclerosing Cholangitis and Portal Hypertension After O157 Enterocolitis: Extremely Rare Complications of Hemolytic Uremic Syndrome. Journal of Pediatric Surgery 2001
36(12): 1838-1840

12. 小田 慈 小児がん患児・家族の支援に関するガイドライン(改訂版)(分担)(ガイドライン作成委員会編) 財団法人がんの子どもを守る会(東京) 2001

13. 小田 慈 がんの子どもへの教育支援に関するガイドライン(分担)(ガイドライン作成委員会編) 財団法人がんの子どもを守る会(東京) 2001

14. Isoyama K, Eguchi M, Hibi S, Kimukawa N, Ohkawa H, Kawasaki H, Kosaka Y, Oda T, Oda M, Okamura T, Nishimura S, Hayashi Y, Mori T, Imaizumi M, Mizutani S, Tsukimoto I, Kamada N, Ishii E
Risk-directed treatment of infant acute lymphoblastic leukemia based on early assessment of MLL gene status: results of the Japan Infant Leukemia Study (MLL96)
British Journal of Haematology 2001 85(1): 93-97
15. Yumura-Yagi K, Hara J, Horibe K, Tawa A, Komada Y, Oda M, Nishimura S, Yoshida M, Kudo T, Ueda K
Outcome after Relapse in Childhood Acute Lymphoblastic Leukemia.
International Journal of Hematology 2002 76(1): 61-68
16. Ishii E, Eguchi M, Eguchi-Ishimae M, Yoshida N, Oda M, Zaito M, Fujita I, Miyazaki S, Hamasaki Y, Mizutani S
In Vivo Cleavage of the MLL Gene by Topoisomerase II Inhibitor (Etoposide) in Normal Cord and Peripheral Blood Mononuclear Cells.
International Journal of Hematology 2002 76(1): 74-79
17. 萬木 章, 西内律雄, 江口直宏, 井上拓也, 浦上知子, 富山佳江, 宮村能子, 角 勇二, 小田 慈, 清野佳紀
バンコマイシン耐性腸球菌保菌者に対する同種骨髄移植の経験
日本小児科学会雑誌 2002 106(1): 67-70
18. 小山真穂, 西内律雄, 富山佳江, 笹部 誠, 小田 慈, 清野佳紀
造血幹細胞移植の前処置に用いた Busulfan により間質性肺炎をきたした乳児白血病の2例
日本小児血液学会雑誌 2002 16(2): 90-94
19. 小田 慈
母子免疫の低下が問題となり始めた感染症(麻疹, 水痘等)
母子保健情報 2002 45: 51-55
20. 浦上知子, 西内律雄, 萬木 章, 茶山公祐, 小田 慈, 清野佳紀
急性リンパ性白血病の維持療法中に合併したサイトメガロウイルス網膜炎の1例
日本小児血液学会雑誌 2002 16(5): 312-316

21.	林 優子, 中西代志子	腎移植を受けたレシピエントの QOL を高めるための看護援助モデルの開発	平成11年度～13年度 科学研究費補助金 (基盤研究(C)(2)) 課題番号11672374 1-82	2002
22.	深井喜代子	経官栄養法	看護学生 49(1): 20-22	2002
23.	深井喜代子	巻法	看護学生 49(2): 20-22	2002
24.	深井喜代子	包帯法	看護学生 49(3): 20-22	2002
25.	深井喜代子, 兼光洋子, 井上桂子, 山下裕美, 黒田裕子	実験的疼痛に対するリドカインの効果－看護的 除痛法との比較	臨牀看護 18(3): 408-414	2002
26.	国安勝司, 井上桂子, 深井喜代子	リハビリテーション医療領域の痛みのある患者	臨牀看護 18(5): 707-716	2002
27.	東 りえ, 千田美智子, 深井喜代子	痛性疼痛に対するマッサージ, 指圧または鎮痛 ケア組み合わせの効果	臨牀看護 18(7): 1118-1126	2002
28.	深井喜代子, 山下裕美, 池田理恵	ヒトの傾眠状態と自律神経活性との関係	川崎医療福祉学会誌 12(1): 147-150	2002
29.	深井喜代子	Q & A 痛みのケア	Emergency nursing 15(9): 66-71	2002
30.	深井喜代子, 阪本みどり, 大倉美穂	便秘のケアのエビデンス	臨牀看護 28(3): 2125-2136	2002
31.	深井喜代子	痛みのケアのエビデンス	臨牀看護 28(3): 2137-2148	2002
32.	池田理恵, 深井喜代子, 岡田淳子	手浴が実験的疼痛閾値に及ぼす影響	川崎医療福祉学会誌 12(2): 253-257	2002
33.	黒田裕子, 深井喜代子, 池田理恵, 山下裕美	看護行為で発生する音が実験的疼痛閾値に及ぼ す影響	川崎医療福祉学会誌 12(2): 279-283	2002
34.	長江宏美, 深井喜代子, 谷原政江, 山口三重子	児童の排便習慣に及ぼす組織的教育の影響	川崎医療短期大学紀 要 (22): 13-17	2002

35. 吉田沢子, 久世恵美子, 看護師の臨床判断能力の実態 日本看護学教育学会 2002
上山和子, 菅田節子, 誌
弓場茂子, 安酸史子 12(1): 27-35
36. 浅井さおり, 介護老人保健施設での看護場面におけるタッチ 老年看護学 2002
田上明日香, 沼本教子, の特徴 7: 70-78
西田真寿美, 高田早苗
37. 岡野初枝, 住吉和子, 地域住民の健康と生活に関する基礎調査 御津 2002
長宗典代, 川田智恵子 町住民の健康と生活-アンケート調査報告書-
38. 岡野初枝, 川田智恵子, 地区診断のための PRECEDE-PROCEED モデルを用いた既存資料の分析 保健婦雑誌 2002
二宮一枝 58(4): 324-329
39. 岡野初枝, 太田武夫, 読谷村における「ゆいまーる共生事業・ミニデ 地域保健 2002
川田智恵子, 住吉和子 イサービス」の展開と介護予防 33(6): 44-53
40. 太田にわ 入院児への母親の付き添いが同胞に及ぼす影響 小児看護 2002
と看護ケア 25: 466-471
41. 太田にわ, 小田 慈, 先天性心疾患の手術によって乳児と分離があっ 日本小児科学会雑誌 2002
大月審一, 清野佳紀 た母親の母性愛着に関する研究 106: 665-672
42. 長江宏美, 谷原政江, 看護専門学校・看護大学・一般大学新入生の 岡山県看護教育研究 2002
中新美保子, 砂田正子, 「勤勉性」の実態-佐方らの調査(1983)との比 会誌 平成14年度
留田通子, 太田にわ, 較- 10-13
大場広美, 堀尾秀子
43. 三浦都子, 太田にわ, 家族との関わりの中での看護学生の戸惑い 岡山県看護教育研究 2002
祇園寿恵子, 小川光子, 会誌 平成14年度
太田栄子, 安原裕子, 21-23
野村佳代, 江口 瞳,
橋本素子
44. 祇園寿恵子, 太田栄子, 第22回 ICN 大会「看護: 行動への新時代」参 順正高等看護専門学校 2002
太田にわ, 小川光子, 加報告 校研究紀要
道廣睦子 9: 27-37
45. 合田典子, 白井喜代子, 岡山大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別 岡山大学医学部保健 2002
岡崎愉加 専攻における助産学実習の実際「産褥期集団指 学科紀要
導」 12(2): 131-141
46. 合田典子, 片岡則之, ECIS 法の電極系円柱モデルを用いたシミュ 日本 ME 学会誌 2002
山本尚武, 奥田博之, レーション実験による検討 抄録・論文号
梶谷文彦 40: 422

- | | | | | |
|-----|---|---|--|------|
| 47. | <u>Goda N, Kataoka N, Yamamoto Y, Okuda H, Kajiya F</u> | Experimental simulation by Means of Cylindrical Hole Model of electrode System for ECIS (Electric Cell-Substrate Impedance Sensing) | Proceedings for 11th International Congress on Biological and Medical Engineering
<u>D1I-1640</u> : 1 - 2 | 2002 |
| 48. | <u>池田敏子, 渡邊久美, 佐藤美恵, 金尾直美, 樺野香苗</u> | 基礎看護技術教育の体系化とカリキュラム開発 | 平成11年度～13年度
科学研究費補助金
(基盤研究(C)(2))
課題番号11672329
1 -98 | 2002 |
| 49. | <u>池田敏子</u> | やさしく学ぶ看護研究 研究を始めるにあたって | 外来看護新時代2002
日総研
8 (1) : 141-146 | 2002 |
| 50. | <u>大井伸子, 松井たみこ, 秦久美子, 坂江雅美</u> | 皮膚ケア | 小児看護臨時増刊号
26 : 1190-1194 | 2002 |
| 51. | <u>本戸敦子, 新田明子, 荒木陽子, 小林典子, 大井伸子, 松井たみこ</u> | 入院中の授乳指導についての検討 | 平成14年度岡山県看護協会母性・小児看護学会集録
10-15 | 2002 |
| 52. | <u>大井伸子, 花田幸子, 光岡美智子, 虫明さとみ</u> | 夫の子育て・家事参加に関する研究 | 平成14年度男女共同参画調査研究事業報告書
1 -36 | 2002 |
| 53. | <u>Higuchi M</u> | Traditional Health Behaviour in Sri Lanka: A comparative study in three different characteristic areas | Japan Academy for Health Behavioural Science
73-75 | 2002 |
| 54. | <u>Higuchi M</u> | Role of Primary Health Care System for Current Health Issues in Sri Lanka | The Journal of Japan Association for International Health
16(12) : 56-62 | 2002 |
| 55. | <u>樋口まち子</u> | スリランカの人々の日常生活に生きる伝統医療－真の豊かさとは | 看護実践の科学
27(12) : 105 | 2002 |
| 56. | <u>樋口まち子</u> | ヘルスプロモーション理論：プライマリヘルスケアの理念を踏まえて | Quality Nursing
8 (11) : 79-84 | 2002 |

- | | | | | |
|-----|---|--|--|------|
| 69. | <u>Shirai K.</u>
<u>Yamamoto Y.</u>
<u>Nakamura T.</u>
<u>Kusuhara T.</u>
<u>Okuda H</u> | Using Electrodermal Actiity for Analysis of the Effect of Different Sense Stimulations on Humans | J. Inter. Society of Life Information Science
20(2) : 622-626 | 2002 |
| 70. | 白井喜代子, <u>山本尚武</u> ,
<u>奥田博之</u> | 各種皮膚水分センサと女性の前腕表皮角質層の水分変動 | JJME, 40
Suppl : 152-153 | 2002 |
| 71. | <u>Shirai K.</u>
<u>Yamamoto Y.</u>
<u>Okuda H.</u>
<u>Nakamura T.</u>
<u>Kusuhara T.</u> , <u>Goda N</u> | Field Study of Water Content in Forearm Stratum Corneum on Women | Proceedings for 11th International Congress on Biological and Medical Engineering
1 - 2 , 12-13 | 2002 |
| 72. | 森本美智子, 高井研一,
中嶋和夫 | 病気に関連した不安認知尺度の開発 | 岡山県立大学保健福祉学部紀要
8(1) : 11-19 | 2001 |
| 73. | 森本美智子, 中嶋和夫,
高井研一 | 慢性閉塞性肺疾患患者の機能障害ならびにストレス認知と精神的健康の関係 | 日本看護研究学会雑誌
25(4) : 17-31 | 2002 |
| 74. | <u>岡崎愉加</u> , <u>奥田博之</u> | 透析患者へのリハビリテーションⅦ 女性患者のリハビリテーションー子産み子育て支援ー | 臨牀透析
18 : 1193-1199 | 2002 |
| 75. | <u>野村佳代</u> | ハイリスク治療計画への意思決定における子どもの参加を巡る親の考え方ー造血幹細胞移植事例を通してー | 日本小児看護学会誌
11(1) : 8 -14 | 2002 |
| 76. | <u>野村佳代</u> , 村田恵子 | 幼い同胞の骨髓提供による病児の骨髓移植に対する家族の葛藤と対処 | 小児看護
25(4) : 484-489 | 2002 |
| 77. | <u>大倉美穂</u> , 黒田裕子 | 病床における音環境のエビデンス | 臨床看護
28(13) : 1923-1932 | 2002 |
| 78. | <u>坪井桂子</u> , <u>安酸史子</u> | 看護系大学教師の実習教育に対する教師効力の影響要因に関する研究 | 看護研究集録
9 : 93-104 | 2002 |
| 79. | <u>坪井桂子</u> , <u>安酸史子</u> | 看護教師の実習教育に対する教師効力に影響する状況の分析ーフォーカス・グループ・インタビュー法を用いて | 日本看護学教育学会誌
12(2) : 1 -14 | 2002 |

80. 長宗典代, 中西代志子, 川田智恵子, 太田にわ, 林 優子, 安酸史子, 岡山県下の地域中核病院における地域医療連携業務, 患者支援システムの実態調査 岡山大学医学部保健 2002
学科紀要
12(2) : 123-129
81. Nagamune N, Bellis J, Decisional Balance of Condom Use and Depression among Incarcerated Male Adolescents. Acta Medica Okayama 2002
56(6) : 287-294
82. 中田安成 サルコイドーシスの概念, 診断基準 日本臨床 2002
60 : 1673-1678
83. 岡本 基, 崎山順子, 森 秀治, 臼井真一, 荒尾雄二郎 WGA トランスジーンを用いたてんかん性神経回路の形態学的研究 てんかん治療研究振 2002
興財団年報
14 : 80-90
84. Ninomiya Y, Kitamura Y, Yamamoto S, Okamoto M, Oka H, Yamada N, Kuroda S Analysis of pain-related somatosensory evoked magnetic Fields using the MUSIC (multiple signal classification) algorithm for magnetoencephalography Neuro Report 2001
12 : 1657-1661
85. Oka T, Ouchida M, Koyama M, Ogama Y, Takada S, Nakaani Y, Tanaka T, Yoshino T, Hayashi K, Ohara N, Takahashi K, Tsuchiyama J, Tanimoto M, Shimizu K, Akagi T Gene silencing of the phosphatase SHP1 gene by aberrant methylation in leukemias/ lymphomas Cancer Research 2002
62 : 6390-6394
86. Takemoto S, Murakami T, Kusachi S, Iwabu A, Hirohata S, Nakamura K, Sezaki S, Hayashi J, Suezawa C, Ninomiya Y, Tsuji T Increased expression of dermatopontin mRNA in the infarct zone of experimentally induced myocardial infarction in rats: comparison with decorin and type I collagen mRNAs. Basic Res Cardiol 2002
Oct ; 97(6) : 461- 8

87. Urabe N, Naito I, Saito K, Yonezawa T, Sado Y, Yoshioka H, Kusachi S, Tsuji T, Ohtsuka A, Taguchi T, Murakami T, Ninomiya Y Basement membrane type IV collagen molecules in the choroid plexus, pia mater and capillaries in the mouse brain. Arch Histol Cytol 2002
65(2) : 133-43

88. Iwabu A, Murakami T, Kusachi S, Nakamura K, Takemoto S, Komatsubara I, Sezaki S, Hayashi J, Ninomiya Y, Tsuji T Concomitant expression of heparin-binding epidermal growth factor-like growth factor mRNA and basic fibroblast growth factor mRNA in myocardial infarction in rats. Basic Res Cardiol 2002
May ; 97(3) : 214-22

89. Matano S, Iwasaki K, Kusachi S, Murakami T, Kurazono S, Yamaji H, Hamamoto H, Takamura T, Hina K, Tsuji T ST-segment re-elevation unrelated to left ventricular ejection fraction or volume after anterior wall acute myocardial infarction treated with successful reperfusion. J Electrocardiol 2002
Apr ; 35(2) : 87-93

90. Ueda T, Nakatsu T, Yamane S, Kurazono S, Murakami T, Mashima K, Tominaga Y, Mukouhara N, Kusachi S, Tsuji T Correlation of Lorenz scatterplots with frequency-domain heart rate variability. Clin Exp Hypertens 2002
Jan-Feb ; 24 (1-2) : 11-21

91. Ueta J, Nakatsu T, Murakami T, Toyonaga S, Hirohata S, Mashima K, Samukawa M, Kusachi S, Shiratori Y Intense Response of Heart Rate with Pronounced Suppression of High-Frequency Power of HR Variability to Early-Morning Exercise with High-Intensity Load Biomed Pharmacother 2002
56 : 353s-358s

102. Saengjaruk P, Chaicumpa W, Watt G, Tapchaisri P, Sittinont C, Tomnakan K, Wambong-co M, Chongsa-nguan M, Maha-kunkijchatoen Y, Kalambaheti T, Sakolvaree Y, Naigowit P, Kurazono H, Hayashi H
Diagnosis of human leptospirosis by monoclonal antibody based-antigen detection in urine. J. Clin. Microbiol 40(2): 480-489 2002

103. Shirasaka D, Aoyama N, Sakashita M, Kuroda K, Maekawa M, Wambura C, Miyamoto M, Tamura T, Yhiro K, Wada A, Kurazono H, Hirayama T, Kssuga M
Relationship between gastric ulcer and Helicobacter pylori VacA detected in gastric juice using bead-ELISA method. Helicobacter 7(5): 281-286 2002

104. Karasawa T, Ito H, Tsukamoto T, Yamasaki S, Kurazono H, Faruque S, Nair G, Nishibuchi M, Takeda Y
Cloning and characterization of gene encoding homologues of the B-subunit of Cholera toxin and the Escherichia coli heat-labile enterotoxin from clinical isolates of Citrobacter freundii and E coli Infect. Immun 70(12): 7153-7155 2002

105. Ishitoya S, Yamamoto S, Kanamuru S, Kurazono H, Tabuchi T, Ogawa O, Terai A
istribution of afae adhesins in Escherichia coli isolated from Japanese urinary tract infection patients. J. Urol in press,

106. 唐下博子, 一村光子, 筒井公子, 佐野訓明, ISIK S, 筒井 研
核マトリックス付着領域(MAR)を認識する抗核抗体の解析 日本臨床病理学会中国四国支部会誌 2002
17: 34

107.	<u>荒尾雄二郎</u>	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6) U94 遺伝子の HHV6 増殖に対する機能の解析	ヘルペスウイルス感染症フォーラム 8	2002
108.	Ogawa-Goto K, Irie S, Omori A, Miura Y, Katano H, Hasegawa H, Kurata T, Sata T, <u>Arao Y</u>	An endoplasmic reticulum protein, p180, is highly expressed in human cytomegalovirus permissive cells and interacts with the tegument protein, UL48	Journal of Virology 76(5) : 2350-2362	
109.	Sato M, Tone S, <u>Ishikawa T</u> , Purdue P, Danpure C, Minatogawa Y	Functional analysis of the 5'-flanking region of the human alanine:glyoxylate aminotransferase gene AGXT.	Biochim Biophys Acta 1574(2) : 205-209	2002
110.	<u>Mitsuda T</u> , Onorati P	Three-dimensional tuning profile of motor cortical activity during arm movement	Neuro Report 13(11) : 1477-1480	2002
111.	<u>Mitsuda T</u> , Kuge S, Wakabayashi M, Kawamura S	Wearable force display using a Particle Mechanical Constraint	Presence 11(6) : 569-577	2002
112.	<u>Usui S</u> , Suzuki K, Yamanaka H, Nakano T, Nakajima K, Hara Y, Okazaki M	Estrogen treatment of prostate cancer increases triglycerides in lipoproteins as demonstrated by HPLC and immunoseparation techniques	Clin Chim Acta 317 : 133-143	2002
113.	<u>Usui S</u> , Hara Y, Hosaki S, Okazaki M	A new on-line dual enzymatic method for simultaneous quantification of cholesterol and triglycerides in lipoproteins by HPLC	J Lipid Res 43 : 805-814	2002
114.	<u>Usui S</u> , Kakuuchi H, <u>Okamoto M</u> , Mizukami Y, Okazaki M	Differential reactivity of two homogeneous LDL-cholesterol methods with LDL and VLDL subfractions, as demonstrated by ultracentrifugation and HPLC	Clinical Chemistry 48(11) : 1946-1954	2002
115.	Sun H, <u>Usui S</u> , Shiomi M, Watanabe T, Fan J	A Rapid PCR Method of Genotyping LDL Receptor Mutations in WHHL Rabbits	J Atheroscler Thromb 9 : 145-148	2002

116. Wu C, Tsujita M, Cholesteryl ester transfer protein expressed Arterioscler Thromb 2002
Okumura-Noji K, in lecithin cholesterol acyltransferase- Vasc Biol
Usui S, Kakuuchi H, deficient mice 22 : 1347-1353
Okazaki M,
Yokoyama S

117. Hirayama T, Helicobacter pylori vacuolating cytotoxin, Jpn. J. Infect. Dis 2002
Wada A, Yahiro K, VacA 55 : 1 - 5
Kimura M,
Kimura T

118. Shibakura M, Camptothecin Induces Urokinase-type Plas Acta Medica 2002
Niiya K, Kiguchi T, minogen Activator Gene-Expression in Hu- Okayama
Nakata Y, man RC-K8 Malignant Lymphoma and H69 56 : 223-227
Tanimoto M Small Cell Lung Cancer Cells

119. Shibakura M, Simultaneous induction of matrix British Journal of 2002
Niiya K, Kiguchi T, metalloproteinase-9 and interleukin 8 by all- Haematology
Shinagawa K, *trans* retinoic acid in human PL-21 and NB4 118 : 419-425
Ishimaru F, Ikeda K, myeloid leukaemia cells
Namba M, Nakata Y,
Harada M,
Tanimoto M

120. Shibakura M, Induction of IL-8 and Monocyte Chemoat- International Jour- 2003
Niiya K, Kiguchi T, tractant Protein-1 by doxorubicin in human nal of Cancer
Kitajima I, Niiya M, small cell lung carcinoma cells 103 : 380-386
Asaumi N, Huh N,
Nakata Y,
Harada M,
Tanimoto M

121. Sumimoto T, Image Analysis for Detection of Defects of Proceedings of In- 2002
Maruyama T, BGA by Using X-ray Imaging ternational Confer-
Azuma Y, Goto S, ence on Control,
Mondo M, Automation and
Furukawa N, Systems
Okada S 1521-1524

122. Sumimoto T, Detection of Defects at BGA Solder Joints 2002 IEEE Inter- 2002
Maruyama T, by Using X-ray Imaging national Confer-
Azuma Y, Goto S, ence on Industrial
Mondo M, Technology, Pro-
Furukawa N, ceedings
Okada S 1 : 238-241

123. 住本哲宏, 倉本和興, 岡田三郎 画像処理による海難捜索目標検出技術の開発 信学技報, Vol.102
102(279), 21-24

124. Asaumi J, Higuchi Y, Matsuzaki H, Murakami J, Kawasaki S, Kuroda M, Shibuya K, Konouchi H, Hisatomi M, Wakasa T, Kishi K, Hiraki Y Thermochemotherapy of a human salivary adenocarcinoma cell line Oncol. Rep. 2002
9 (2) : 365-369

125. Gao X, Qiao X, Yang X, Asaumi J, Zhou Z, Wang Y, Zhou D, Wan J, Kuroda M, Kishi K, Kawasaki S, Hiraki Y Late course accelerated hyperfractionation radiotherapy concomitant with cisplatin in patients with esophageal carcinoma Oncol. Rep. 2002
9 (3) : 763-772

126. Asaumi J, Higuchi Y, Murakami J, Matsuzaki H, Wakasa T, Inoue T, Shigehara H, Konouchi H, Hisatomi M, Kawasaki S, Kuroda M, Hiraki Y, Kishi K Thermoradiotherapy combined with p53 gene therapy of human salivary gland adenocarcinoma cell line Oncol. Rep. 2002
Jan-Feb ; 10(1) : 71- 4

127. Yamamoto Y, Nakamura T, Kusuhara T, Mori K Impedance Pharyngography for Diagnosis of Swallowing Disorders Biocybernetics and Biomedical Engineering 2002
22(4) : 97-103

128. Yamamoto Y, Shirai K, Kusuhara T, Nakamura T, Okuda H Study of Formative Mechanism of Electrodermal Activity - Skin Potential Activity and Skin Impedance Change - Proceedings for 11th International Congress on Biological and Medical Engineering 2002
D2VB-1300 : 1 - 2

129. 加藤博和 医学分野における電磁波用ファントム 電子情報通信学会B 論文誌 J85-B(5): 597-608 2002

130. Uchida N, Kato H, Kawaguchi A, Moriyama M, Kitagaki H, Kasai T, Urakami S, Igawa M The development and application of a radiofrequency (RF) interstitial hyperthermia system to prostate cancer Japanese Journal of Hyperthermic Oncology 18(3): 143-150 2002

131. Okuno K, Joja I, Miyagi Y, Sakaguchi Y, Notohara K, Kudo T, Hiraki Y Cervical carcinoma with full-thickness stromal invasion: relationship between tumor size on T2-weighted images and parametrial involvement Journal of Computer Assisted Tomography 26: 119-125 2002

132. Iwata S, Joja I, Okuno K, Miyagi Y, Sakaguchi Y, Kudo T, Hiraki Y Cervical Carcinoma with Full-thickness Stromal Invasion: Efficacy of Dynamic MR Imaging in the Assessment of Parametrial Involvement Radiation Medicine 20: 247-255 2002

133. 青山英樹, 中桐義忠, 井上光広, 稲村圭司, 田原誠司, 宇野弘文, 森岡泰樹, 平木祥夫 Gafchromic MD-55-2 film の Laser Densitometer Model 1710 における線量 岡大医学部保健学科 紀要 12(2): 83-90 2002

134. Aoyama H, Nakagiri Y, Inoue M, Inamura K, Tahara S, Uno H, Morioka Y, Hiraki Y Influence of the dose to the laryngeal cancer by the difference in radiation beam energy Bull Fac Health Sci, Okayama Univ Med Sch 12(2): 91-99 2002

135. 青山英樹, 中桐義忠, 稲村圭司, 田原誠司, 宇野弘文, 東 義晴, 金澤 右, 平木祥夫 X線エネルギーの違いによる早期声門癌治療の吸収線量評価-フィルムタイプ線量計を用いた検討- 日本放射線腫瘍学会 誌 14: 239-245 2002

136. Sayed R, Mubarak W, Ohtsuka A, Taguchi T, Murakami T Histochemical study of perineuronal nets in the retrosplenial cortex of adult rat. Ann Anat 184: 333-339 2002

137. Kojima S, Ishida H, Takahashi M, Yamaoka K Elevation of Glutathione Induced by Low-dose γ -rays and its Involvement in Increased Natural Killer Activity Radiat. Res. 157: 275-280 2002

138. Yamaoka K, Mori S, Nomura T, Taguchi T, Ito T, Hanamoto K, Kojima S Elevation of Antioxidant Potency in Mice Brain by Low-dose X-ray Irradiation and its Effect on Fe-NTA-induced Brain Damage Phys. Chem. Phys. 2002
34 : 119-132
139. Yamaoka K, Nomura T, Wang D, Mori S, Taguchi T, Ishikawa T, Hanamoto K, Kira S Adjustment Function among Antioxidant Substances in Acatalasemic Mouse Brain and its Enhancement by Low-dose X-ray irradiation Phys. Chem. Phys. 2002
34 : 133-144
140. Mori S, Takahashi H, Yamaoka K, Okamoto M, Nishibori M High Affinity Binding of Serum Histidine Rich Glycoprotein to Nickel-nitrilotriacetic Acid: The Application to Microquantification Life Sci. in press
141. Mitsunobu F, Yamaoka K, Hanamoto K, Kojima S, Hosaki Y, Ashida K, Sugita K, Tanizaki Y Elevation of Antioxidant Enzymes in Clinical Effects of Radon and Thermal Therapy for Bronchial Asthma J. Radiat. Res. in press
142. 山岡聖典, 御船尚志 欧州におけるラドン療法の医学的研究の動向 放射線と健康を考える会誌 2002
4 : 2-10
143. 山岡聖典 展望 ラドン療法の適応症とその機構解明の現状 Isotope News 印刷中
144. 山岡聖典 特集 健康を考える：低線量放射線の健康影響と医療効果について 毎日新聞 印刷中
145. 平木祥夫, 竹田芳弘, 赤木史郎, 小林 満, 佐藤修平, 奥村能啓 臨床放射線医学(核医学)特集「臨床医学の展望－診断および治療上の進歩－」 日本醫事新報 2002
4058 : 42-47
146. Tamizu A, Okamura Y, Sato S, Takeda Y, Maki K, Hiraki T, Araki S, Kuroda M, Knazawa S, Hiraki Y The usefulness of serum thyroglobulin levels and Tl-201 scintigraphy in differentiating between benign and malignant thyroid follicular lesions Annals of Nuclear Medicine 2002
16 : 95-101

147. Shibuya K,
Kawasaki S,
Kuroda M,
Takemoto M,
Asaumi J, Hiraki Y Effect of wortmannin on the suppression of thermotolerance in tsAF8 cells Oncology Reports 2002
9 (1) : 81-84

148. 澁谷光一, 山岡聖典,
永松知洋, 花元克巳,
川崎祥二, 平木祥夫 気体状放射性ヨウ素 (^{125}I) 濃度の簡易測定法 Radioisotopes 2002
51 : 66-70

149. Shibuya K,
Kawasaki S,
Kuroda M,
Asaumi J, Kato H,
Hiraki Y Cell cycle of tsAF8 after heating 岡山大学医学部保健
学科紀要 2002
12(2) : 101-106

150. Asaumi J,
Higuchi Y,
Murakami J,
Kuroda M,
Shibuya K,
Konouchi H,
Hisatomi M,
Matsuzaki H,
Shigehara H,
Kawasaki S, Kishi K,
Hiraki Y Thermoradiotherapy in human head and neck squamous cell carcinoma cell lines International
Journal of Molecular
Medicine 2002
10(3) : 287-291

151. Higuchi Y,
Asaumi J,
Murakami J,
Wakasa T, Inoue T,
Kuroda M,
Shibuya K,
Shigehara H,
Kawasaki S,
Fukui K, Hiraki Y Adenoviral p53 gene therapy in head and neck squamous cell carcinoma cell lines Oncology Reports 2002
9 (6) : 1233-1236

152. 丸山敏則, 山本秀樹, 医療用 X 線フィルムの粒状度測定 信学技報 2002
102(196) : 45-48

153. Miki H, Lin S,
Kawai T, Sasaki M,
Hanamoto K, Imai S,
Nakayama Y Consideration of Synchrotron Radiation Ablation Mechanism Memoirs of the SR
Center Ritsumeikan
University 2001
3 : 125-133

- | | | | | |
|------|--|---|---|------|
| 154. | Sasaki M,
<u>Hanamoto K</u> ,
Kimura Y, Kaito C,
Miki H,
Nakayama Y | Effects of SR irradiation on tin-doped indium oxide thin film prepared by rf magnetron sputtering | Rev. Sci. Instr.
73 : 1384-1386 | 2002 |
| 155. | Kimura Y, Kaito C,
<u>Hanamoto K</u> ,
Sasaki M, Kimura S,
Nakada T, Saito Y,
Nakayama Y | Growth process of carbyne crystals by synchrotron irradiation | Carbon
40 : 1043-1050 | 2002 |
| 156. | Kimura Y,
<u>Hanamoto K</u> ,
Nakayama Y,
Kaito C | Irradiation effect of synchrotron radiation on crystallization of thin amorphous WO ₃ film | Nucl. Instr. Meth. B
194 : 187-192 | 2002 |
| 157. | <u>Goto S</u> , <u>Azuma Y</u> ,
<u>Sumimoto T</u> ,
<u>Takeda Y</u> , Eiho S | A Neural Network Approach to Classification on Mammographic Density | 2nd European Medical and Biological Engineering Conference
3 : 918-919 | 2002 |
| 158. | 井内洋介, 内藤博昭,
上甲 剛 | MRI 位相コントラスト (Cine PC) 法による大動脈解離の定量的血流評価と解離腔拡大傾向の解析 | 日放技会近畿部会誌
8 (2) : 42-46 | 2002 |
| 159. | 楠原俊昌, <u>中村隆夫</u> ,
<u>森 恵子</u> , <u>山本尚武</u> | 嚥下障害者におけるインピーダンス咽頭図 (IPG) の波形に対する考察 | 電子情報通信学会技術研究報告
102 (196) : 49-52 | 2002 |
| 160. | 楠原俊昌, <u>花元克巳</u> ,
<u>山岡聖典</u> | 総説 低線量放射線の適応応答に関する最近の研究動向とその意義 | 岡山大学医学部保健学科紀要
13 (1) : 7-15 | 2002 |

Ⅲ. 学会発表等

- | | 演 者 | 演 題 | 学 会 名 | 開催年月 | 開催場所 |
|----|--|---|---------------|---------|------|
| 1. | <u>小野清美</u> , <u>林 優子</u> ,
<u>山岡聖典</u> , <u>奥田博之</u> ,
<u>加藤久美子</u> | 病棟のアメニティに関する検討－岡山旭東病院で実施した七夕行事の色彩の工夫について－ | 第13回日本インテリア学会 | 2001. 1 | 新潟 |

2. 小野清美, 合田典子, 初回の分娩介助に関する学生の意識 岡山県母性衛生学会 2002.10 岡山
大井伸子, (第一報) - 岡山大学医学部保健学科助
白井喜代子, 産師コース第1回生の場合 -
岡崎愉加, 奥田博之

3. 野口まゆみ, ヘリコバクター・ピロリの除菌を試み 第7回香川・岡山小 2002. 2 高松
西内律雄, 萬木 章, た慢性特発性血小板減少性紫斑病の一 児感染免疫懇談会
茶山公祐, 小田 慈, 例
清野佳紀

4. 野口まゆみ, ヘリコバクター・ピロリの除菌後にガ 第5回中国地区小児 2002. 2 広島
西内律雄, 萬木 章, ンマグロブリンへの反応の改善をみた 免疫薬物療法研究会
茶山公祐, 小田 慈, 慢性特発性血小板減少性紫斑病の一例
清野佳紀

5. 萬木 章, 西内律雄, 当科における若年性特発性関節炎(若 第33回岡山リウマチ 2002. 3 岡山
茶山公祐, 小田 慈, 年性リウマチ)14例の治療の現状につ 研究会
清野佳紀 いて

6. 富山佳江, 西内律雄, 非血縁者間骨髄移植を施行したムコ多 第105回日本小児科 2002. 4 名古屋
大月審一, 小田 慈, 糖性Ⅳ型(MPS Ⅳ; Sly syndrome) 学会学術集会
清野佳紀, 祐川和子 の一例

7. 赤在あゆみ, ウイルス関連血球貪食症候群を反復し, 第12回 EB ウイルス 2002. 5 東京
小橋ひろみ, 蚊刺アレルギー症状もきたした慢性活 感染症研究会
小野博通, 難波文彦, 動性 EB ウイルス感染症の一例
井上英雄, 茶山公祐,
小田 慈, 山本剛伸,
岩月啓氏

8. Miyamura T, The Significance of Minimal Re- The 29th World 2002. 8 Seoul
Okamura T, sidual Disease in Childhood Acute Congress of the (Korea)
Saka M, Myelogenous Leukemia. International Socie-
Komada Y, ty of Hematology
Matsuyama T,
Oda M,
Nishiuchi R,
Park Y, Kawa K

9. 富山佳江, 西内律雄, Transient myeloproliferative dis- 第64回日本血液学会 2002. 9 横浜
萬木 章, 茶山公祐, order における WT1 遺伝子定量の有 総会
江口直宏, 小山真穂, 用性
山口和誠, 小田 慈,
清野佳紀

10. 宮村能子, 岡村隆行, 小児 AML における微少残存腫瘍 第44回日本臨床血液 2002. 9 横浜
安井昌博, 坂田尚己, (MRD)の臨床的意義 学会総会
井上雅美, 八木啓子,
迫 正廣, 駒田美弘,
松山孝治, 小田 慈,
西内律雄, 朴 永東,
河 敬世

11. 鶴沢正仁, 真部 淳, 小児二次性 MDS 70例の後視的解析 第44回日本臨床血液 2002. 9 横浜
秋山祐一, 小島勢二, 学会総会
土田昌宏,
生田孝一郎,
原 純一, 小田 慈,
生島 聡, 加藤剛二,
菊地 陽, 中畑龍俊

12. 真部 淳, 土田昌宏, 小児骨髓異形成症候群(MDS)の病理 第44回日本臨床血液 2002. 9 横浜
生田孝一郎, セントラルレビュー 学会総会
小島勢二, 原 純一,
生島 聡, 秋山祐一,
鶴沢正仁, 小田 慈,
菊地 陽, 加藤剛二,
増永敦子, 中畑龍俊

13. 西村真一郎, JACLS ALL ER-97 研究の治療成績 第44回日本小児血液 2002.10 東京
宇佐美郁哉, 学会総会
小田 慈, 工藤 亨,
駒田美弘, 多和昭雄,
原 純一, 八木啓子,
谷澤昭彦, 吉田 真,
堀部敬三, 上田一博

14. 吉田 真, 工藤 亨, 小児急性リンパ性白血病予後超不良群 第44回日本小児血液 2002.10 東京
駒田美弘, 原 純一, に対する ALL97F プロトコールの検 学会総会
八木啓子, 多和昭雄, 討
小田 慈,
西村真一郎,
堀部敬三

15. 萬木 章, 茶山公祐, 皮膚筋炎に合併した間質性肺炎に対し 第34回日本小児感染 2002.11 札幌
江口直宏, 浦上知子, てシクロフォスファミドパルスとシク 症学会
富山佳江, 小山真穂, ロスポリンの併用が奏効した1例
山口和誠, 小田 慈,
清野佳紀

- | | | | | | |
|-----|---|--|----------------------|---------|----|
| 16. | 浦上知子, 萬木 章,
<u>小田 慈</u> , 清野佳紀 | JIS (juvenile idiopathic arthritis) に
おける血清中 MMP-3 濃度の臨床的意
義 | 第13回岡山膠原病研
究会 | 2002.11 | 岡山 |
| 17. | 山口和誠, 茶山公祐,
江口直宏, 小山真穂,
萬木 章, <u>小田 慈</u> ,
清野佳紀 | 非血縁者間同種骨髄移植後早期再発に
対して免疫抑制剤を中止し, 長期寛解
をえられている AML の1例 | 第21回小児がん中国
四国研究会 | 2002.11 | 松江 |
| 18. | 萬木 章, 茶山公祐,
江口直宏, 山口和誠,
小山真穂, <u>小田 慈</u> ,
清野佳紀 | 当科における若年性特発性関節炎(若
年性関節リウマチ)15例の治療の現状 | 第54回中国四国小児
科学会 | 2002.12 | 松江 |
| 19. | 宮川直子, 内田陽子,
加納栄子, <u>林 優子</u> ,
<u>石崎博之</u> | 流涙しながら透析導入し, さらに胃切
除術を乗り越えた患者の看護 | 第11回中国腎不全研
究会 | 2002. 9 | 広島 |
| 20. | 山下裕美,
<u>深井喜代子</u> ,
池田理恵 | 感覚遮断が pricking pain 及び圧痛閾
値に及ぼす影響 | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 21. | <u>深井喜代子</u> ,
山下裕美, 池田理恵 | 入眠時の意識レベルの低下が痛点分布
密度に及ぼす影響 | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 22. | 岡田淳子, 池田理恵,
<u>深井喜代子</u> | 手浴が生体に及ぼす影響 | 第1回日本看護技術
学会学術集会 | 2002.10 | 東京 |
| 23. | 黒田裕子, 山下裕美,
池田理恵,
<u>深井喜代子</u> | 看護行為で発生する音が実験的疼痛閾
値に及ぼす影響 | 第22回日本看護科学
学会学術集会 | 2002.12 | 東京 |
| 24. | 池田理恵,
<u>深井喜代子</u> ,
岡田淳子 | 手浴が実験的疼痛閾値に及ぼす影響 | 第22回日本看護科学
学会学術集会 | 2002.12 | 東京 |
| 25. | <u>安酸史子</u> | 看護学実習における教育方法論として
のケアリング(シンポジウム) | 日本看護学教育学会 | 2002. 7 | 札幌 |
| 26. | 松田悦子, 柴辻里香,
<u>安酸史子</u> , <u>岡野初枝</u> ,
<u>住吉和子</u> ,
<u>樋口まち子</u> ,
<u>川田智恵子</u> | 地域住民の健康管理に対する自己効力
と主観的環境の関係-壮年期と老年期
の比較- | 第11回日本健康教育
学会 | 2002. 8 | 東京 |

- | | | | | | |
|-----|--|--|-----------------------------|---------|-----|
| 27. | 柴辻里香, 松田悦子,
<u>安酸史子</u> , <u>住吉和子</u> ,
<u>長宗典代</u> ,
<u>樋口まち子</u> ,
<u>岡野初枝</u> ,
<u>川田智恵子</u> | 地域住民の健康管理に対する自己効力
と糖尿病に関する信念 | 第7回日本糖尿病教
育・看護学会学術集
会 | 2002.10 | 愛知 |
| 28. | <u>秋元典子</u> | 看護ケアの意味を知る(シンポジウム) | 第22回日本看護科学
学会学術集会 | 2002.12 | 東京 |
| 29. | 浅井さおり,
沼本教子,
田上明日香,
<u>西田真寿美</u> ,
正木みどり | 老人看護学実習過程における高齢者イ
メージ変化の縦断的検討 | 日本看護学教育学会
第12回学術集会 | 2002. 7 | 札幌 |
| 30. | <u>岡野初枝</u> , <u>住吉和子</u> | 家族援助論にカルガリー家族看護アセ
スメントモデルを用いた地域看護学教
育展開の方法 | 第5回日本地域看護
学会学術集会 | 2002. 6 | 高知 |
| 31. | <u>岡野初枝</u> , <u>太田武夫</u> ,
<u>川田智恵子</u> ,
<u>住吉和子</u> | ゆいまーる共生事業・ミニデイサービ
ス参加者の特徴と課題 | 第44回日本老年社会
科学学会 | 2002. 7 | 福岡 |
| 32. | <u>岡野初枝</u> ,
<u>川田智恵子</u> | 地域で生活する糖尿病患者との「電話に
よる話し合い」による、共同ケアの樹
立への援助 | 第7回日本糖尿病教
育・看護学会 | 2002.10 | 名古屋 |
| 33. | <u>岡野初枝</u> ,
<u>川田智恵子</u> ,
片山尚子, 村上純子,
二宮一枝, 森 貴美,
網島公子, 小寺良成 | M町の「健康みつ21」策定の過程 | 第61回日本公衆衛生
学会 | 2002.10 | 大宮 |
| 34. | 安原裕子, <u>太田にわ</u> ,
祇園寿恵子,
小川光子, 太田栄子,
三浦都子, 江口 瞳,
<u>野村佳代</u> , 橋本素子,
森 恵子 | 看護学生の家族との関わりにおける戸
惑いと実習領域との関連 | 第9回日本家族看護
学会 | 2002. 9 | 岩手 |
| 35. | <u>合田典子</u> , 片岡則之,
<u>山本尚武</u> , <u>奥田博之</u> ,
梶谷文彦 | ECIS 法の電極系円柱穴モデルを用い
たシミュレーション実験による検討 | 第41回日本 ME 学
会大会 | 2002. 5 | 京都 |

- | | | | | | |
|-----|---|---|--|---------|---------------------|
| 36. | <u>合田典子</u> , <u>片岡則之</u> ,
<u>山本尚武</u> , <u>奥田博之</u> ,
<u>梶谷文彦</u> | バクトルインピーダンスを用いた細胞
動態インピーダンス検出(ECIS 法)の
検討 | 第25回日本 ME 学
会中国四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |
| 37. | <u>Goda N</u> ,
<u>Kataoka N</u> ,
<u>Yamamoto Y</u> ,
<u>Okuda H</u> ,
<u>Kajiya F</u> | Experimental simulation by means
of Cylindrical hole model of elec-
trode system for ECIS | 11th International
Congress on Biolo-
gical and Medical
Engineering | 2002.12 | Singapore |
| 38. | <u>池田敏子</u> , <u>渡邊久美</u> ,
<u>佐藤美恵</u> , <u>樺野香苗</u> ,
<u>金尾直美</u> | ペーパーペイシェントを用いた演習お
よび直後に実施した臨地実習における
看護過程習得についての学生の自己評
価 | 日本看護学教育学会
第12回学術集会 | 2002. 7 | 札幌 |
| 39. | <u>山村香織</u> , <u>坂本富子</u> ,
<u>藤岡まゆみ</u> ,
<u>檜崎美絵</u> ,
<u>松井たみこ</u> ,
<u>大井伸子</u> | 多胎妊婦のストレスについての検討 | 岡山県母性衛生学会 | 2002. 1 | 岡山 |
| 40. | <u>Ohi N</u> | Role of Midwives in Caring for
Mothers of Premature Babies | International Con-
federation of Mid-
wives | 2002. 4 | Vienna
(Austria) |
| 41. | <u>荒木陽子</u> , <u>新田明子</u> ,
<u>本戸敦子</u> ,
<u>岡本真由美</u> ,
<u>大井伸子</u> | 産褥3か月までの授乳に関する実態調
査(第1報) | 日本母性衛生学会 | 2002. 9 | 旭川 |
| 42. | <u>新田明子</u> , <u>本戸敦子</u> ,
<u>岡本真由美</u> ,
<u>荒木陽子</u> , <u>大井伸子</u> | 産褥3か月までの授乳に関する実態調
査(第2報) | 日本母性衛生学会 | 2002. 9 | 旭川 |
| 43. | <u>新田明子</u> , <u>本戸敦子</u> ,
<u>岡本真由美</u> ,
<u>荒木陽子</u> , <u>大井伸子</u> | 産褥3か月までの授乳に関する実態調
査(第3報) | 日本母性衛生学会 | 2002. 9 | 旭川 |
| 44. | <u>江幡芳枝</u> , <u>松浦愛樹</u> ,
<u>佐藤有美</u> , <u>大井伸子</u> | 看護・保育職者における「おしゃぶり」
の必要性の認識に関する研究 | 日本母性衛生学会 | 2002. 9 | 旭川 |
| 45. | <u>江幡芳枝</u> , <u>松浦愛樹</u> ,
<u>佐藤有美</u> , <u>大井伸子</u> | 看護・保育職者における「おしゃぶり」
の使用に関する研究 | 日本母性衛生学会 | 2002. 9 | 旭川 |

46.	<u>Higuchi M</u>	A study of factors affecting involvement of women as commercial sex workers	The 8th International Conference on Thai Studies	2002. 1	Nakhon Phanom (Thailand)
47.	<u>Higuchi M</u>	Promotion of Home Care in Nursing Education	Tradition, Evidence and Innovation in Nursing	2002. 3	Phuket (Thailand)
48.	<u>Higuchi M</u>	Health and Social Services in Japan	Tradition, Evidence and Innovation in Nursing	2002. 3	Phuket (Thailand)
49.	<u>Higuchi M</u>	Factors influence patients to choose between modern medicine and traditional medicine	Fifth Nursing Academic Congress	2002.12	Khon Kaen (Thailand)
50.	兵藤好美, 田中共子, 田中宏二	在宅介護者の精神的健康について(6) - 認知的成長段階と精神的健康との関連 -	日本健康心理学会第15回大会	2002. 9	東京
51.	田中共子, 兵藤好美, 田中宏二	在宅介護者の認知的成長段階における経験類型	日本健康心理学会第15回大会	2002. 9	東京
52.	三木明子, 原谷隆史	看護師の年代別職業性ストレスの特徴	第33回日本看護学会看護総合	2002. 7	広島
53.	三木明子, 豊嶋裕美	看護学生の生活習慣および喫煙関連要因	第33回日本看護学会看護教育	2002. 9	高松
54.	白井喜代子, 山本尚武, 奥田博之, 中村隆夫, 楠原俊昌, 合田典子	女性の前腕表皮角質層の水分測定	第41回日本ME学会大会	2002. 5	京都
55.	白井喜代子, 合田典子, 深江真希, 中村隆夫, 山本尚武, 奥田博之	インピーダンス法を用いた下肢皮下組織の水分測定	岡山県母性衛生学会	2002.10	岡山
56.	井福名香子, 白井喜代子, 中村隆夫, 楠原俊昌, 山本尚武, 奥田博之	皮膚電気活動の発現機序に関する一考察	第25回日本ME学会中国四国支部大会	2002.11	岡山
57.	森本美智子, 高井研一	慢性閉塞性肺疾患患者の精神的健康の障害に関連する要因の検討	日本看護研究学会	2002. 8	横浜

- | | | | | | |
|-----|--|---|------------------------|---------|----|
| 58. | <u>住吉和子</u> , <u>渡辺久美</u> ,
<u>岡崎愉加</u> , <u>中尾美幸</u> | 白癬菌に対する緑茶の抗菌・殺菌作用 | 第22回日本看護科学
学会学術集会 | 2002.12 | 東京 |
| 59. | <u>森 恵子</u> | 食道癌術後におこる嚥下感覚の変化に
対するインフォームド・コンセントの
重要性 | 第16回がん看護学会
学術集会 | 2002. 2 | 愛媛 |
| 60. | <u>森 恵子</u> | 喉頭切除術を受けた患者に対する生活
の再構築に対する援助 | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 61. | <u>野村佳代</u> | ハイリスク治療計画への意思決定にお
ける子どもの参加を巡る親の考え | 日本小児看護学会 | 2001. 7 | 神戸 |
| 62. | <u>野村佳代</u> , <u>村田恵子</u> | 同胞の骨髄提供による小児骨髄移植へ
の家族の認識と葛藤 | 家族看護学会 | 2001. 9 | 千葉 |
| 63. | <u>野村佳代</u> , <u>村田恵子</u> | ハイリスク治療計画への意思決定にお
ける子どもの参加を巡る親の決意から
実際に至る過程 | 日本看護科学学会 | 2001.12 | 神戸 |
| 64. | <u>野村佳代</u> , <u>太田にわ</u> | 先天性心疾患の子どもをもつ母親が支
えられた夫の言動 | 日本家族看護学会 | 2002. 9 | 岩手 |
| 65. | <u>坪井桂子</u> , <u>安酸史子</u> | 看護教師の実習教育に対する教師効力
と不安に関する検討 | 第12回日本看護学教
育学会学術集会 | 2002. 7 | 札幌 |
| 66. | 高橋郁名代,
<u>坪井桂子</u> , <u>海内千春</u> ,
<u>黒明安子</u> , <u>網嶋史江</u> ,
<u>弓場茂子</u> , <u>林 優子</u> | 造血幹細胞移植を経験した造血器腫瘍
患者の闘病意欲に関する研究－看護師
の関わりによる影響の分析－ | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 67. | <u>坪井桂子</u> ,
<u>生田由加利</u> ,
<u>安酸史子</u> , <u>鈴木伸一</u> | 看護スタッフの実習教育前後8ヶ月の
教師効力の縦断調査 第1報 | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 68. | <u>生田由加利</u> ,
<u>坪井桂子</u> , <u>安酸史子</u> ,
<u>西田幸枝</u> , <u>吉水美貴</u> ,
<u>鈴木伸一</u> | 看護スタッフの実習教育前後8ヶ月の
教師効力の縦断調査 第2報 | 第28回日本看護研究
学会学術集会 | 2002. 8 | 横浜 |
| 69. | <u>後藤溶子</u> , <u>時本圭子</u> ,
<u>高村洋子</u> , <u>小原美和</u> ,
<u>小野直美</u> , <u>坪井桂子</u> ,
<u>安酸史子</u> | 看護師の実習指導に対する教師効力と
その関連要因の分析 | 第33回日本看護学会
抄録集：看護教育 | 2002. 8 | 香川 |

- | | | | | | |
|-----|--|---|--------------------------------|---------|------------|
| 70. | 高橋郁名代,
坪井桂子, 海内千春,
黒明安子, 網嶋史江,
弓場茂子, 林 優子 | 同種末梢血幹細胞移植を経験した造血器腫瘍患者の闘病意欲に関する研究(第1報)～看護師・医師の関わりを中心とした分析～ | 第25回日本造血細胞移植学会総会 | 2002.10 | 大阪 |
| 71. | 海内千春, 坪井桂子,
高橋郁名代,
黒明安子, 網嶋史江,
弓場茂子, 林 優子 | 同種末梢血幹細胞移植を経験した造血器腫瘍患者の闘病意欲に関する研究(第2報)～他の患者から受けた影響の分析～ | 第25回日本造血細胞移植学会総会 | 2002.10 | 大阪 |
| 72. | 網嶋史江, 坪井桂子,
高橋郁名代,
黒明安子, 海内千春,
弓場茂子, 林 優子 | 同種末梢血幹細胞移植を経験した造血器腫瘍患者の闘病意欲に関する研究(第3報)～ドナー・家族・友人から受けた影響の分析～ | 第25回日本造血細胞移植学会総会 | 2002.10 | 大阪 |
| 73. | 佐藤美恵, 池田敏子,
渡邊久美, 樫野香苗,
金尾直美 | O医療技術短期大学部卒業生の Self-Esteem | 第15回日本看護研究学会近畿・北陸／中国・四国地方会学術集会 | 2002. 3 | 三木
(香川) |
| 74. | 樫野香苗, 池田敏子,
佐藤美恵, 渡邊久美,
金尾直美 | O医療技術短期大学部卒業生の看護専門職意識を構成している因子－因子分析を用いた構造の検討－ | 第15回日本看護研究学会近畿・北陸／中国・四国地方会学術集会 | 2002. 3 | 三木
(香川) |
| 75. | 樫野香苗, 郡司篤晃 | VTR によるベッドから車椅子への移乗介助技術評価における評価項目の検討 | 日本看護学教育学会
第12回学術集会 | 2002. 7 | 札幌 |
| 76. | 吉本恵子, 樫野香苗,
馬場園千尋,
黒田美和, 福島昭子,
中森共美 | 肺がん患者の化学療法に伴う倦怠感に対するアセスメント | 第33回日本看護学会
－成人看護Ⅱ－ | 2002. 8 | 松山 |
| 77. | 樫野香苗, 吉本恵子,
馬場園千尋,
黒田美和, 福島昭子,
中森共美 | 肺がん患者の化学療法に伴う倦怠感の程度に関連する要因についての探索的研究 | 第33回日本看護学会
－成人看護Ⅱ－ | 2002. 8 | 松山 |
| 78. | 渡邊久美, 住吉和子,
岡崎愉加 | 白癬菌に対する木酢液の発育抑制・殺菌作用 | 第22回日本看護科学学会学術集会 | 2002.12 | 東京 |
| 79. | 長宗典代 | 米国アラバマ州の拘置所内の青少年におけるコンドーム使用に関する価値観と行動, 抑鬱気分との関連について | 日本公衆衛生学会 | 2002.10 | 埼玉 |

80. 倉園昔子, 岡本 基 生後発達過程と実験てんかんモデルに 第8回プロイテオグ 2002. 2 東京
おける海馬のニューロカンとフォスファカンの変化 リカンフォーラム
81. 森 秀治, 岡本 基, Affinity purification and quantifica- 第75回日本薬理学会 2002. 3 熊本
山岡聖典, 高橋英夫, tion of histidine rich glycoprotein 年会
西堀正洋 utilizing high affinity binding to
metal-chelate compound
82. Okamoto M, Changes of chondroitin sulfate pro- The 4th Asian and 2002. 9 Karuizawa
Mori S, Usui S teoglycans, neurocan and phosphacan, in the limbic structures after Congress organized
in collaboration with
The 36th Annual
Congress of the
Japan Epilepsy Society
83. 高橋聖之, 寺本典弘, ヒト口蓋扁桃の interdigitating DC と 第91回日本病理学会 2002. 3 横浜
岡 剛史, 林 一彦, Plasmacytoid DC の細胞分布, 形態, 総会
吉野 正, 赤木忠厚 フェノタイプの違いについて
84. 岡 剛史, 吉野 正, 悪性リンパ腫・白血病におけるチロシン 第91回日本病理学会 2002. 3 横浜
林 一彦, 大原信哉, シンフォスファターゼ SHP1 遺伝子発現 総会
高田晋一, 大島孝一, 抑制
高橋聖之, 近藤英作,
赤木忠厚
85. 林 一彦, 金 在順, EBV 関連血球貪食症候群の家兎モデル：EBV-like virus による血球貪食 第91回日本病理学会 2002. 3 横浜
寺本典弘, ル：EBV-like virus による血球貪食 総会
小田和歌子, 症とリンパ球増殖異常由来細胞株の症
大原信哉, 岡 剛史, 状
吉野 正, 近藤英作,
高橋聖之, 赤木忠厚
86. Takahashi K, Plasmacytoid cell-origin of interdigit- 7th International 2002. 9 Bamberg
Akagi T ating dendritic cells in the human Symposium on Dendritic Cell (Germany)
tonsil.

87. Iwabu A, Murakami T, Maeda H, Takemoto S, Nakamura K, Toeda K, Koten K, Tsuji T, Hirohata S, Kusachi S Hepalin Binding Epidermal Growth Factor-like Growth Factor (HB-EGF) Is Increased in Myocardial Infarction (MI): Enhancement by Reperfusion and Auto-induction by Recombinant Protein The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2002. 4 Sapporo

88. Toeda K, Murakami T, Nakamura K, Takemoto S, Sezaki S, Tsuji T, Hirohata S, Kusachi S Rapid increase of matrix adhesive glycoprotein, thrombospondin-1 (TSP-1) mRNA in rat myocardial infarction (MI) and its localization The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2002. 4 Sapporo

89. Koten K, Murakami T, Maeda H, Iwamoto M, Tsuji T, Hirohata S, Yamaji H, Murakami M, Iwasaki K, Kusachi S Nicorandil decreased infarct size with enhancement of Serum interleukin 6 levels in patients with acute myocardial Infarction after successful reperfusion The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2002. 4 Sapporo

90. Takemoto S, Murakami T, Sezaki S, Tsuji T, Hirohata S, Kusachi S Tissue inhibitor of Metalloproteinase-2 Localization in Myocardial Infarction (MI) in Rats: Another Role as an Activator for Metalloproteinase-2 The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2002. 4 Sapporo

91. Sangawa M, Nakatsu T, Toyonaga S, Sogou T, Mashima K, Murakami T, Tsuji T, Kusachi S High serum Brain Natriuretic peptide levels as a marker of risk for silent stroke in patient with non-valvular Af The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society 2002. 4 Sapporo

92. Iwamoto M, Murakami T, Takemoto S, Nakamura K, Komatsubara I, Tsuji T, Hirohata S, Kusachi S Chemokine Receptor CXCR-3 Was Up-regulated in Rat Myocardial Infarction (MI): Anasysis of cDNA Array and Quantitative Expression by Real Time PCR The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese circulkation Society 2002. 4 Sapporo
93. Sezaki S, Takemoto S, Murakami T, Maeda H, Iwabu A, Komatsubara I, Tsuji T, Hirohata S, Kusachi S EndotheIial Cells of Newly Formed Vessels Express Osteonectin mRNAs in the Border Zone of Myocardial Infarction (MI) in Rats The 66th Annual Scientific Meeting of the Japanese circulkation Society 2002. 4 Sapporo
94. 平野 淳, 谷本 安, 坂口 基, 木村五郎, 武田勝行, 木浦勝行, 上岡 博, 片岡幹男, 谷本光音 CDDP+5FU 投与にて発症した薬剤性肺臓炎の1例 第10回日本気管支学会中国四国支部会 2002. 1 松山
95. 須崎規之, 谷本 安, 佐久川亮, 濱田 昇, 高尾和志, 藤井 誠, 金廣有彦, 谷本光音, 池田和真, 片岡幹男, 今城健二, 高橋 清 ヒト末梢血幹細胞培養好塩基球のアポトーシスに関する検討 第14回日本アレルギー学会春季臨床学会 2002. 3 千葉
96. 谷本 安, 濱田 昇, 佐久川亮, 須崎規之, 高尾和志, 藤井 誠, 金廣有彦, 池田和真, 片岡幹男, 谷本光音, 今城健二, 高橋 清 ヒト好塩基球は IL-16 を産生・遊離する 第42回日本呼吸器学会総会 2002. 4 仙台
97. 佐久川亮, 谷本 安, 須崎規之, 濱田 昇, 高尾和志, 藤井 誠, 金廣有彦, 池田和真, 片岡幹男, 谷本光音, 今城健二, 岡田千春 ヒト末梢血幹細胞培養好塩基球の PDGF 産生・遊離に関する検討 第42回日本呼吸器学会総会 2002. 4 仙台

98. 大森雅一, 平松順一, サルコイドーシス(サ症)患者における 第42回日本呼吸器学 2002. 4 仙台
鎌尾高行, 平野 淳, 脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP) 会総会
谷本 安, 金廣有彦, 測定の意義
谷本光音, 片岡幹男,
中田安成, 森 由弘
99. 市川裕久, 剥離性間質性肺炎(DIP)の1例 第86回日本内科学会 2002. 6 米子
小野勝一郎, 中国地方会
井上由佳里,
伊藤 亘, 佐久川亮,
谷本 安, 金廣有彦,
片岡幹男, 谷本光音,
青江 基, 山鳥一郎
100. Kataoka M, Response of BAL cells to Propioni- The 7th World 2002. 6 Stockholm.
Nakata Y, bacterium acnes in sarcoidosis Association of Sar- (Sweeden)
Hiramatsu J, patients coidosis and Othre
Kamao T, Mori Y, Granulomatous Dis-
Shiomi K, orders Congress
Hioka T, Ejiri T,
Tanimoto Y,
Kanehiro A,
Tanimoto M
101. 小野勝一郎, ツブテロール添付剤が早朝の症状と呼 第37回日本呼吸器学 2002. 7 徳島
谷本 安, 佐久川亮, 吸機能低下に奏功した成人喘息の1例 会中国四国地方会
伊藤 亘,
井上由佳里,
大森雅一, 須崎規之,
金廣有彦, 片岡幹男,
高橋 清, 谷本光音
102. 柴山卓夫, 渡辺一彦, 気管支鏡による診断が困難であったサ 第37回日本呼吸器学 2002. 7 徳島
宮本 亨, 片岡幹男, ルコイドーシス(サ症)の2例 会中国四国地方会
中田安成
103. 井上由佳里, ステロイド治療中に嚢胞状変化を呈し 第37回日本呼吸器学 2002. 7 徳島
三宅淳子, たサルコイドーシスの1例 会中国四国地方会
小野勝一郎,
谷本 安, 金廣有彦,
片岡幹男, 谷本光音

104. Sakugawa M, Tanimoto Y, Suzaki N, Hamada N, Takao K, Kanehiro A, Ikeda K, Kataoka M, Tanimoto M, Imajo K, Okakada C, Takahashi K
Regulation of surface expression of high-affinity IgE receptor and cell survival in cultured basophils by IgE and interleukin-3
European Respiratory Society Annual Congress 2002
2002. 9 Stockholm. (Sweden)

105. Suzaki N, Tanimoto Y, Sakugawa M, Hamada N, Takao K, Kanehiro A, Ikeda K, Kataoka M, Tanimoto M, Imajo K, Takahashi K
Dexamethasone potently induces human basophil apoptosis
European Respiratory Society Annual Congress 2002
2002. 9 Stockholm. (Sweden)

106. 井上由佳里, 谷本 安, 佐久川亮, 須崎規之, 金廣有彦, 片岡幹男, 谷本光音, 小塚輝彦, 武田 昌
ハチミツによるアナフィラキシーの1例
第87回日本内科学会中国地方会
2002.11 岩国

107. 片岡幹男
シンポジウム「サルコイドーシスにおけるステロイドホルモン投与の検討－症例に学ぶ－」
第22回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会
2002.11 岡山

108. 大森雅一, 平松順一, 鎌尾高行, 市川裕久, 谷本 安, 金廣有彦, 谷本光音, 片岡幹男, 中田安成, 森 由弘, 岡山呼吸器疾患研究会
心臓症患者の経過追跡における脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)測定の意義
第22回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会
2002.11 岡山

109. 柴山卓夫, 渡辺一彦, 松本 寛, 宮本 亨, 片岡幹男, 中田安成
経気管支肺生検で非典型的な病理像を示したサルコイドーシス(サ症)の2例
第22回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会
2002.11 岡山

- | | | | | | |
|------|--|--|-----------------------------------|---------|----|
| 110. | 市川裕久,
小野勝一郎,
井上由佳里,
平野 淳, 佐久川亮,
谷本 安, 金廣有彦,
谷本光音, <u>片岡幹男</u> ,
<u>中田安成</u> , 山鳥一郎 | DIP 様病変の合併が認められたサル
コイドーシス(サ症)の1例 | 第22回日本サルコイ
ドーシス/肉芽腫性
疾患学会総会 | 2002.11 | 岡山 |
| 111. | 平松順一, 谷本 安,
金廣有彦, 谷本光音,
伊達洋至, 清水信義,
<u>片岡幹男</u> , <u>中田安成</u> | 肺移植登録をしているサルコイドーシ
スの1例 | 第22回日本サルコイ
ドーシス/肉芽腫性
疾患学会総会 | 2002.11 | 岡山 |
| 112. | 柴山卓夫, 坂口 基,
河田典子, 木村五郎,
岡田千春, 多田敦彦,
宗田 良, 高橋 清,
山下素弘,
鳥越利加子,
<u>片岡幹男</u> , <u>中田安成</u> | 非定型抗酸菌症(M. avium)加療中に
発症したサルコイドーシス(サ症)の1
例 | 第22回日本サルコイ
ドーシス/肉芽腫性
疾患学会総会 | 2002.11 | 岡山 |
| 113. | 平松順一, 松尾 潔,
岸野大蔵, 西井研治,
小谷剛士, 大森雅一,
鎌尾高行, 谷本 安,
金廣有彦, 谷本光音,
<u>片岡幹男</u> , <u>中田安成</u> | Vanishing tumor にて発見され, 長
期間にわたり胸膜病変の消長を繰り返
すサルコイドーシスの1例 | 第22回日本サルコイ
ドーシス/肉芽腫性
疾患学会総会 | 2002.11 | 岡山 |
| 114. | 濱田 昇, 佐藤利雄,
高杉孝司, 荻野敦子,
米井敏郎, 河合俊典,
東 良平, 山鳥一郎,
<u>片岡幹男</u> , <u>中田安成</u> | サルコイドーシスに伴う高 Ca 血症に
対してパミドロン酸二ナトリウムが奏
功した一例 | 第22回日本サルコイ
ドーシス/肉芽腫性
疾患学会総会 | 2002.11 | 岡山 |
| 115. | 須崎規之, 谷本 安,
佐久川亮, 濱田 昇,
高尾和志, 金廣有彦,
池田和真, <u>片岡幹男</u> ,
今城健二, 高橋 清,
谷本光音 | ヒト末梢血幹細胞培養好塩基球におけ
る surface phenotype の検討 | 第52回日本アレルギー学会総会 | 2002.11 | 横浜 |

116. 平野 淳, 金廣有彦, 長期抗原曝露によるマウス喘息モデル 第52回日本アレルギー学会総会 2002.11 横浜
北村賢一, 伊藤 亘, における気道炎症及び気道過敏性に関
谷本 安, 片岡幹男, する検討
谷本光音, 岡田千春,
高橋 清, 高井俊行,
武田勝行,
Gelfand. E. W
117. 佐久川亮, 谷本 安, 肺病変を有する顕微鏡多発血管炎 第52回日本アレルギー学会総会 2002.11 横浜
小野勝一郎, (MPA) 9 例の臨床的検討
須崎規之, 伊藤 亘,
大森雅一, 金廣有彦,
池田和真, 片岡幹男,
谷本光音, 山崎康司,
山村昌弘
118. 伊藤 亘, 金廣有彦, マウス喘息モデルにおける TGF- β , 第52回日本アレルギー学会総会 2002.11 横浜
平野 淳, 丸山宏美, PDGF 及び NGF の関与について
谷本 安, 片岡幹男,
谷本光音
119. 金廣有彦, 平野 淳, マウス rechallenge 喘息モデルの気道 第52回日本アレルギー学会総会 2002.11 横浜
伊藤 亘, 谷本 安, 炎症及び気道過敏性に対する TNF- α
片岡幹男, 谷本光音, の関与について
岡田千春, 高橋 清,
藤田昌樹,
Gelfand. E. W
120. 西下千春, 岡本栄祐, イレウスを繰り返した静脈硬化性大腸 第88回日本消化器内 2002. 7 広島
奥山俊彦, 梅川康弘, 炎の 1 例
村嶋信尚, 藤原拓造,
松本剛昌, 池田 敏
121. Wijaya S, Oka H, Designing a digital measurement The 9th Scientific 2000. 9 Hamamatsu
Ono K, Saratani K, system of a dental implant move- meeting Temu
Kawazoe T ment Ilmiah 2000
122. Saratani K, Oka H, Development and clinical trials of a International Asso- 2001. 3 San Diego
Wijaya S, Fujii T, dental implant movement checker ciation of Dental
Ueda N, Research and Amer-
Kawazoe T ican Association of
Dental Research

- | | | | | | |
|------|---|---|------------------------------------|---------|-----|
| 123. | Wijaya S, <u>Oka H</u> ,
Ikegami K,
Saratani K,
Matsutani Y,
Kawazoe T,
Kojima H | Development of microcontroller-based system for dental implantation assessment | 電子情報通信学会
MEとバイオサイバ
ネティックス研究会 | 2001. 3 | 東京 |
| 124. | <u>岡 久雄</u> , 宮島 智 | 筋振動特性に着目したクロナキシー自
動計測システムの開発 | 電子情報通信学会
MEとバイオサイバ
ネティックス研究会 | 2001. 3 | 東京 |
| 125. | Wijaya S, <u>Oka H</u> ,
Saratani K,
Matsutani Y,
Kawazoe T,
Kojima H | Development of implant movement
checker for assessment of dental
Implantation -For rapid data ac-
quisition- | 第40回日本 ME 学
会大会 | 2001. 5 | 名古屋 |
| 126. | <u>岡 久雄</u> , 宮島 智,
<u>岡本 基</u> | 筋振動自動検出型クロナキシー計測シ
ステムの開発 | 第40回日本 ME 学
会大会 | 2001. 5 | 名古屋 |
| 127. | 更谷啓治, 松谷善雄,
龍田光弘, <u>岡 久雄</u> ,
川添堯彬 | 臨床使用を目的としたインプラント動
揺測定装置の開発とその臨床応用 | 第40回日本 ME 学
会大会 | 2001. 5 | 名古屋 |
| 128. | 入江 隆, 池上公一,
<u>岡 久雄</u> | 筋力学特性の変化から見た筋疲労評価 | 第40回日本 ME 学
会大会 | 2001. 5 | 名古屋 |
| 129. | Wijaya S, <u>Oka H</u> ,
Saratani K,
Matsutani Y,
Tatsuta M,
Kawazoe T,
Kojima H | Development of microcontroller-based system for dental implantation assessment Part 2: Typical artificial implant model | 電子情報通信学会
MEとバイオサイバ
ネティックス研究会 | 2001. 7 | 徳島 |
| 130. | <u>岡 久雄</u> , 一色弘三,
<u>Ake Öberg</u> | 虚血下の筋機能診断のための筋内ブ
ロープの開発 | 電子情報通信学会
MEとバイオサイバ
ネティックス研究会 | 2002. 7 | 岡山 |
| 131. | <u>岡 久雄</u> , 一色弘三,
<u>Ake Öberg</u> | 虚血性筋痛評価のための筋内挿入型ブ
ロープの開発 | 計測自動制御学会第
17回生体・生理工学
シンポジウム | 2002. 9 | 札幌 |

- | | | | | | |
|------|---|--|--|---------|------------------|
| 132. | Wijaya S, <u>Oka H</u> ,
Mitsuda T,
Saratani K,
Takayoshi,
Kojima H | Non-invasive quantitative assessment of the stability of dental implant using IM checker | 第23回バイオメカニズム学術講演会 | 2002.10 | 岡山 |
| 133. | 入江 隆, <u>岡 久雄</u> | 筋力学特性からみた等尺性筋収縮時の筋疲労評価
－断続的負荷を加えた場合－ | 第23回バイオメカニズム学術講演会 | 2002.10 | 岡山 |
| 134. | Saratani K,
Sumikawa T,
Shi S, <u>Oka H</u> ,
Kawazoe T | Development of a new device for evaluation of dental implant stability | Chaina-Japan Medical Conference 2002 | 2002.11 | Beijing (Chaina) |
| 135. | 一色弘三, <u>岡 久雄</u> ,
P. Åke Öberg | 局所的筋機能評価のための筋内プローブの開発 | 第25回日本ME学会中国四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |
| 136. | Wijaya S, <u>Oka H</u> ,
Sumikawa T,
Saratani K,
Kawazoe T | Assessment of dental implant mobility using microcontroller-based IM checker –lengths and diameters of implant, and stiffness of surroundings– | 第25回日本ME学会中国四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |
| 137. | 入江 隆, <u>岡 久雄</u> | 等尺性収縮時の筋疲労計測－休息時間の影響－ | 第25回日本ME学会中国四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |
| 138. | <u>Oka H</u> , Isshiki H,
Öberg P | Development of an intramuscular probe for ischemic muscle diagnosis | International Congress on Biological and Medical Engineering | 2002.12 | Singapore |
| 139. | <u>Oka H</u> , Wijaya S,
Saratani K,
Kawazoe T,
Kojima H | Development of a microcontroller-based dental implant movement checker | International Congress on Biological and Medical Engineering | 2002.12 | Singapore |
| 140. | <u>倉園久生</u> , 太田敏子,
林 英生, 牧野壮一 | サルモネラ属菌の産生するエンテロトキシンの検出法の確立。 | 第75回日本細菌学会総会 | 2002. 4 | 横浜 |
| 141. | 江崎孝行, 牧野壮一,
<u>倉園久生</u> , 飯田哲也 | 危険度を下げた教育用病原微生物株。 | 第75回日本細菌学会総会 | 2002. 4 | 横浜 |

142. 木村美幸, H. pylori VacA, m1 と m2 との受容 第75回日本細菌学会 2002. 4 横浜
八尋錦之助, 体結合の比較。 総会
倉園久生, 和田昭裕,
平山壽哉
143. 和田昭裕, 高橋 章, Salmonella enteritidis の鞭毛構成蛋 第75回日本細菌学会 2002. 4 横浜
大串賢一, 倉園久生, 白質 (FilC) による細胞内カルシウム濃 総会
平山壽哉 度の上昇
144. 大串賢一, 和田昭裕, Salmonella enteritidis の FilC による 第75回日本細菌学会 2002. 4 横浜
高橋 章, 新留琢郎, human beta-defensin-2 発現誘導機序 総会
青柳東彦, 倉園久生, の解析
平山壽哉
145. 山本新吾, 石戸谷哲, 尿路病原性大腸菌における AfaE sub- 第75回日本細菌学会 2002. 4 横浜
金丸聰淳, 寺井章人, type の分布の検討。 総会
倉園久生
146. 倉園久生, 山本新吾, 愛玩動物より分離された尿路病原性大 第49回毒素シンポジ 2002. 7 下呂
中野政之, 寺井章人, 腸菌の解析。 ウム (岐阜)
小川 修, 牧野壮一,
林 英生
147. Kurazono H, Establishmanent of the detection 平成14年度日米医学 2002. 8 東京
Tai R, Kimura M, method for Salmonella enterotoxin 協力会コレラ・細菌
Makino S, (Stn) and partial purification of Stn. 性腸管感染症専門部
Chongsa-nguan M, 会総会
Chaicumpa W,
Nair G
148. Leelawongtawon R, Role of bacterial CpG DNA and The 37th Joint 2002.12 那覇
Somroop S, liposome in immune response to Coference of U.S.-
Chaisri U, oral cholera vaccine. Japan Cooperative
Tongtawe P, Medical Science
Chngsa- M, Program: Cholera
Kalambaheti T, and Other Bacte-
Tapchaisri P, rial Enteric Infec-
Pichayangoon S, tions Panel
Kurazono H,
Hyashi H,
Chaicumpa W

- | | | | | | |
|------|---|---|---|---------|------------------------|
| 149. | <u>Kurazono H,</u>
Tai R, <u>Kimura M,</u>
Makino S,
Chongsa-nguan M,
Chaicumpa W,
Nair G. | Establishment of a sensitive detection system for Salmonella enterotoxin (Stn) and partial purification of Stn. | The 37th Joint Conference of U.S.-Japan Cooperative Medical Science Program: Cholera and Other Bacterial Enteric Infections Panel | 2002.12 | 那覇 |
| 150. | <u>荒尾雄二郎</u> | 単純ヘルペスウイルスに誘導される宿主細胞のグルコース取込み上昇 | 第18回中四国ウイルス研究会 | 2002. 5 | 岡山 |
| 151. | <u>荒尾雄二郎</u> | 単純ヘルペスウイルスに誘導される宿主細胞のグルコース取込み上昇 | 第17回ヘルペスウイルス研究会 | 2002. 7 | 東京 |
| 152. | <u>荒尾雄二郎</u> | 単純ヘルペスウイルスに誘導されるウイルス増殖開始前の宿主細胞グルコース取込み上昇 | 第50回日本ウイルス学会学術集会・総会 | 2002.10 | 札幌 |
| 153. | <u>Mitsuda T,</u>
Kuge S,
Wakabayashi M,
Kawamura S | Wearable haptic display by the use of a particle mechanical constraint | 10th International Symposium on Haptic Interfaces for Virtual Environment and Teleoperator Systems | 2002. 3 | Orlando (USA) |
| 154. | <u>Mitsuda T,</u>
Kuge S,
Wakabayashi M,
Kawamura S | Haptic displays implemented by controllable passive elements | 2002 IEEE International Conference on Robotics and Automation | 2002. 5 | Washington, D.C. (USA) |
| 155. | <u>満田 隆</u> , 川村貞夫 | 粒子内蔵型機械拘束要素による触覚呈示装置の開発 | 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 | 2002. 6 | 松江 |
| 156. | 若林将人, <u>満田 隆</u> ,
川村貞夫 | 粒子装着可変拘束要素による下肢運動用力呈示装置の開発 | 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス講演会 | 2002. 6 | 松江 |
| 157. | <u>満田 隆</u> | 上肢随意運動時の運動野神経活動の工学的理解に向けて | 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 | 2002.12 | 神戸 |
| 158. | 若林将人, <u>満田 隆</u> ,
川村貞夫 | 粒子内蔵型拘束要素を用いた体重保持装具の開発 | 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 | 2002.12 | 神戸 |

- | | | | | | |
|------|--|--|---|---------|---------------|
| 159. | 満田 隆, 川村貞夫 | 可変粘弾性要素を用いた柔軟ロボットアームの開発 | 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 | 2002.12 | 神戸 |
| 160. | 満田 隆, 若林将人, 川村貞夫 | 能動性を付加した粒子内蔵型拘束要素による力覚呈示 | 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 | 2002.12 | 神戸 |
| 161. | Okazaki M, Kakuuchi H, Mizukami Y, Kazama H, Ito H, Nakano T, <u>Usui S</u> , Nakajima K | Comparison of the effects of bezafibrate and pravastatin on cholesterol and triglyceride concentrations in remnant-like lipoprotein particles for type II diabetic patients in a randomized cross-over design. | The 54th AACC Annual Meeting | 2002. 7 | Orlando (USA) |
| 162. | 辻田麻紀, 呉 成愛, 角内 創, <u>臼井真一</u> , 岡崎三代, Dennis E. Vance, 横山信治 | 肝細胞における apoAI-HDL 産生の機構 | 第34回日本動脈硬化学会総会 | 2002. 7 | 神戸 |
| 163. | 呉 成愛, 辻田麻紀, 野路久仁子, 角内 創, <u>臼井真一</u> , 岡崎三代, 横山信治 | LCAT による血中 CETP 量の調節 | 第34回日本動脈硬化学会総会 | 2002. 7 | 神戸 |
| 164. | 園田 豊, 甲斐 藏, <u>臼井真一</u> , 岡崎三代, 和田 勝 | ニワトリ雌雛の卵黄産生に及ぼすエストロジェン様物質の影響 | 第23回 In vitro 発生毒性研究会 | 2002. 8 | 東京 |
| 165. | 山田桃子, <u>臼井真一</u> , 岡崎三代, 角内 創, 水上由紀 | 超遠心法と HPLC 法を組み合わせたヒト血清リポタンパク質の分析 | 日本油化学会創立50周年記念大会 | 2002. 9 | 東京 |
| 166. | Mizukami Y, Hosaki S, <u>Usui S</u> , Okazaki M, Mizuno T, Yamami N, Mano Y, Maruyama K | Appearance of an abnormal serum lipoprotein in alcoholics. | The 18th International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine | 2002.10 | Kyoto |

167. Kakuuchi H, Usui S, Mizukami Y, Okazaki M, Nakano M, Sueshige A, Mishima S
Effect of lipoprotein particle size and lipid composition on serum LDL-cholesterol determination by homogeneous methods.
The 18th International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine
2002.10 Kyoto
168. 辻田麻紀, 呉 成愛, 臼井真一, 角内 創, 岡崎三代, 横山信治
ヒト肝株細胞における apoAI-ABCA1 経路による HDL 新生の機序
第75回日本生化学会 大会
2002.10 京都
169. 呉 成愛, 辻田麻紀, 野路久仁子, 臼井真一, 角内 創, 岡崎三代, 横山信治
HDL 濃度による血中 CETP レベルの調節
第75回日本生化学会 大会
2002.10 京都
170. 木村美幸, 八尋錦之助, 倉園久夫, 和田昭裕, 平山壽哉
H. pylori VacA, m1 と m2 との受容体結合の比較
第75回日本細菌学会 総会
2002. 4 横浜
171. 木村貴弘, 木村美幸, 八尋錦之助, 和田昭裕, 平山壽哉
Helicobacter pylori VacA 毒素の結合を阻害するウシ胎児血清因子
第75回日本細菌学会 総会
2002. 4 横浜
172. 和田昭裕, 木村美幸, 木村貴弘, 八尋錦之助, 大串賢一, 倉園久生, 平山壽哉
H. pylori VacA は AZ-521 細胞の p38 MAP kinase のリン酸化を亢進する
第49回毒素シンポジウム
2002. 7 下呂町 (岐阜)
173. Hirayama T, Kimura M, Kimura T, Yahiro K, Wada A, Moss J
Helicobacter pylori VacA induces p38 MAP kinase phosphorylation in AZ-521 cells
IUMS Congress, 10th International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology
2002. 7 Paris (France)
174. 木村美幸, 山本新吾, 中野政之, 寺井章人, 小川 修, 倉園久生
Usp の in vitro での発現とその精製
第55回日本細菌学会 中国・四国支部総会
2002.10 岡山

175. 柴倉美砂子, ヒト小細胞肺癌細胞におけるドキソル 第64回日本血液学会 2002. 9 横浜
新谷憲治, 新谷勝美, ビシンによる IL-8 と MCP-1 の発現誘 総会
浅海 昇, 品川克至, 導
石丸文彦, 木浦勝行,
池田和真, 上岡 博,
中田安成, 谷本光音

176. Shibakura M, Simultaneous Induction of Uroki- 16th International 2002. 9 Munich
Niiya K, nase, IL-8 and MCP-1 by Doxorubi- Congress of Inter- (Germany)
Kiguchi T, cin in H69 Human Small Cell Lung national Society for
Niiya M, Cancer Cells Fibrinolysis and
Asaumi N, Proteolysis (ISFP)
Nakata Y,
Tanimoto M

177. Niiya M, Niiya K, Implication of ERK1/2 and p38 16th International 2002. 9 Munich
Kiguchi T, MAP kinases in doxorubicin- Congress of Inter- (Germany)
Shibakura M, induced urokinase-type plasminogen national Society for
Asaumi N, activator (uPA) expression in RC- Fibrinolysis and
Tanimoto M K8 human lymphoma cells Proteolysis (ISFP)

178. 柴倉美砂子, H69 ヒト小細胞肺癌細胞におけるド 第49回日本臨検 2002.11 大阪
新谷憲治, 中田安成, キソルビシンの癌関連遺伝子発現誘導 医学会総会
谷本光音 作用(マイクロアレイ法を用いて)

179. 新谷勝美, 新谷憲治, RC-K8 リンパ腫細胞における doxoru- 第25回日本血栓止血 2002.11 神戸
浅海 昇, bicin 誘導 urokinase 発現と MAP 学会学術集会
柴倉美砂子, kinases の活性化
谷本光音

180. 森 秀治, 篠畑綾子, ヘパリン誘導性血管平滑筋増殖阻害に 第75回日本生化学会 2002.10 京都
連佛 誠, 高橋英夫, 及ぼす histidine rich glycoprotein の 大会
岡本 基, 山岡聖典, 作用
山本 格, 西堀正洋

181. 帆足正勝, 大木祐一, X線画像による BGA 検査技術 平成14年度電気・情 2002. 1 松江
中島彰雄, 住本哲宏, 報関連学会中国支部
丸山敏則 第53回連合大会

182. 大木祐一, 中島彰雄, X線による BGA 欠損の検出手法 第11回計測自動制御 2002.11 広島
帆足正勝, 住本哲宏, 学会中国支部学術講
丸山敏則 演会

- | | | | | | |
|------|--|---|--|---------|-----------------------|
| 183. | Asaumi J,
Higuchi Y,
<u>Kawasaki S</u> ,
Kishi K | Thermoradiotherapy combined with adenoviral p53 gene therapy in head and neck carcinoma cell lines | The 2nd International Workshop on Space Radiation Research | 2002. 3 | Nara
(Japan) |
| 184. | <u>Kawasaki S</u> ,
<u>Shibuya K</u> ,
<u>Kato H</u> ,
Kuroda M,
Asaumi J,
Hiraki Y | Effect of protein kinase inhibitors on thermotolerance expression in BHK21 and tsAF8 cells | The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology | 2002. 4 | Zhen Gzhou
(China) |
| 185. | 川崎祥二, 村上 純,
浅海淳一, <u>澁谷光一</u> ,
黒田昌宏, <u>加藤博和</u> | 温熱・放射線による G2-block における 14-3-3 family 遺伝子の関与 | 日本ハイパーサーミア学会第19回大会 | 2002. 9 | 名古屋 |
| 186. | 山本尚武, <u>中村隆夫</u> ,
<u>楠原俊昌</u> , <u>森 恵子</u> ,
<u>岡 久雄</u> , <u>角野 歩</u> | 障害者の損傷機能評価装置に関する研究－嚥下機能評価装置 | 平成13年度福祉機器関連共同研究会 | 2002. 3 | 岡山 |
| 187. | Kuroda M,
Urano M, Clair D,
Wang Y.
Komatsu M,
Ono E,
Yoshimura K,
<u>Kato H</u> ,
<u>Kawasaki S</u> ,
Hiraki Y | The efficacy of antioxidant enzyme imbalance induced by overexpression of manganese superoxide dismutase gene for hyperthermia. | The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology | 2002. 4 | Zhen Gzhou
(China) |
| 188. | Yoshimura K,
<u>Kato H</u> ,
Kuroda M,
Yoshida A,
<u>Hanamoto K</u> ,
<u>Kawasaki S</u> ,
<u>Shibuya K</u> ,
Hiraki Y | Development of a phantom for non-invasive temper measurement using MRI | The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology | 2002. 4 | Zhen Gzhou
(China) |

189. Kato H,
Kuroda M,
Yosimura K,
Yosida A,
Hanamoto K,
Kawasaki S,
Shibuya K,
Ikuo Joja,
Hiraki Y
A phantom study of non-invasive thermometry using MRI – Efficacy of Magnetization – The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology 2002. 4 Zhen Gzhou (China)

190. Kuroda M,
Urano M, Clair D,
Wang Y,
Komatsu M,
Ono E,
Yosimura K,
Kato H,
Kawasaki S,
Hiraki Y
The efficacy of antioxidant enzyme imbalance induced by overexpression of manganese superoxide dismutase gene for hyperthermia. The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology 2002. 4 Zhen Gzhou (China)

191. Yoshimura K,
Kato H,
Kuroda M,
Yoshida A,
Hanamoto K,
Kawasaki S,
Shibuya K,
Hiraki Y
Development of a phantom for non-invasive temperature measurement using MRI The 3rd Asian Congress on Hyperthermia Oncology 2002. 4 Zhen Gzhou (China)

192. 加藤博和, 黒田昌宏, 皮下脂肪を加熱しない多電極 RF 加温 日本ハイパーサーミア学会第19回大会 2002. 9 名古屋
花元克巳, 川崎祥二,
澁谷光一, 内田伸恵,
平木祥夫

193. 黒田昌宏, 加藤博和, カラギーナンとジュランガムを併用した三次元温度分布可視化固形ファントムの作成と特性評価 日本ハイパーサーミア学会第19回大会 2002. 9 名古屋
花元克巳, 吉村孝一,
吉田敦史,
津野田雅俊,
川崎祥二, 平木祥夫

194. 加藤博和, 吉村孝一, MRI とハイパーサーミアで使用できるファントムの電気的特性 日本ハイパーサーミア学会第19回大会 2002. 9 名古屋
吉田敦史, 黒田昌宏,
花元克巳, 川崎祥二,
澁谷光一, 平木祥夫

- | | | | | | |
|------|---|---|--|---------|------|
| 195. | Uchida N, <u>Kato H</u> ,
Moriyama M,
Yoshimura Y,
Kitagaki H | Development of the mould-type radiofrequency (RF) hyperthermia electrode for superficial oral cancer | International Symposium on Microwave Science and Its Application to Related Fields | 2002.11 | Nara |
| 196. | Kuroda M,
<u>Kato H</u> ,
<u>Hanamoto K</u> ,
Tsunoda M,
Hiraki Y | Development of a Hybrid Gel Phantom Using Carrageenan and Gellan Gum Visualizing the 3-D Temperature Distribution | International Symposium on Microwave Science and Its Application to Related Fields | 2002.11 | Nara |
| 197. | <u>Kato H</u> ,
Yoshimura K,
Kudoda M,
Yoshida A,
<u>Hanamoto K</u> ,
<u>Kawasaki S</u> ,
<u>Shibuya K</u> ,
<u>Yamamoto Y</u> ,
<u>Joja I</u> , Hiraki Y | Dielectric Properties of the phantom used for MRI and Hyperthermia | International Symposium on Microwave Science and Its Application to Related Fields | 2002.11 | Nara |
| 198. | <u>上者郁夫</u> | 婦人骨盤部腫瘍の1例 | 第14回関西 GUR 勉強会 | 2002. 1 | 大阪 |
| 199. | 繁田浩三, 赤松信雄,
<u>上者郁夫</u> | 卵巣明細胞癌の MRI の特徴像についての検討 | 第21回日本画像医学会 | 2002. 2 | 東京 |
| 200. | 三森天人, 繁田浩三,
赤松信雄, <u>上者郁夫</u> ,
平木祥夫 | 子宮 cellular leiomyoma の MR 像と病理組織像との対比 | 第21回日本画像医学会 | 2002. 2 | 東京 |
| 201. | <u>上者郁夫</u> ,
岩田寿美代,
奥野恵子, <u>竹田芳弘</u> ,
杉田勝彦, 平木祥夫,
宮木康成, 三森天人,
赤松信雄 | Full-thickness stromal invasion の子宮頸癌傍組織浸潤の評価における dynamic MRI の有用性 | 第21回日本画像医学会 | 2002. 2 | 東京 |
| 202. | <u>上者郁夫</u> ,
岩田寿美代,
奥野恵子, 平木祥夫,
<u>竹田芳弘</u> , <u>杉田勝彦</u> ,
赤松信雄 | Full-thickness stromal invasion の子宮頸癌：傍組織浸潤の評価における dynamic MRI の有用性について | 第61回日本医学放射線学会学術大会総会 | 2002. 4 | 神戸 |

- | | | | | | |
|------|--|--|--|---------|------|
| 203. | <u>上者郁夫</u> , <u>竹田芳弘</u> ,
<u>田口勇仁</u> , <u>杉田勝彦</u> ,
奥野恵子,
岩田寿美代,
平木祥夫, 浅川 徹,
三森天人 | 悪性ブレンナー腫瘍の1例 | 第16回腹部放射線研
究会 | 2002. 5 | 大阪 |
| 204. | 浅川 徹, 吉田 孝,
安藤正明, 吉岡 保,
濱崎周次, <u>上者郁夫</u> ,
平木祥夫 | 卵巣癌肉腫の1例 | 第16回腹部放射線研
究会 | 2002. 5 | 大阪 |
| 205. | 三森天人,
山崎俊一郎,
松原伸一郎,
道家哲哉, 山本道教,
河原伸明, 赤松信雄,
<u>上者郁夫</u> , 平木祥夫 | 留膿腫穿孔をきたした子宮癌肉腫の1
例 | 第16回腹部放射線研
究会 | 2002. 5 | 大阪 |
| 206. | 牧 大介, 河野良寛,
芝本健太郎,
森澤容子, 兵頭 剛,
中川富夫,
赤堀周一郎,
早瀬良二, <u>上者郁夫</u> ,
平木祥夫 | ovarian serous cystadenofibroma の
1例 | 第98回日本医学放射
線学会中国四国地方
会 | 2002. 6 | 岡山 |
| 207. | <u>上者郁夫</u> | 婦人骨盤部腫瘍の1例 | 第16回関西 GUR 勉
強会 | 2002. 7 | 大阪 |
| 208. | 篠原里佳, <u>上者郁夫</u> ,
真鍋智也, 赤川大輔,
<u>丸山敏則</u> , <u>中桐義忠</u> | 胆嚢収縮動態における食品別の影響 | 平成14年度中四国放
射線技師学術大会 | 2002.11 | 高知 |
| 209. | 赤川大輔, <u>上者郁夫</u> ,
真鍋智也, 篠原里佳,
中桐義忠 | MRI の T2 強調像における junctional
zone の描出と閉経に関する検討 | 平成14年度中四国放
射線技師学術大会 | 2002.11 | 高知 |
| 210. | Nomura T,
<u>Yamaoka K</u> ,
Mori S, Wang D,
Kira S | Effects of the X-rradiation on En-
dogenous Antioxidants in the Liver
of Acatalasemic Mice | 2nd International
Workshop on Space
Radiation Research | 2002. 3 | Nara |
| 211. | 野村崇治, 森 秀治,
汪 達紘, 吉良尚平,
酒井一夫, <u>山岡聖典</u> | X線を照射したアカタラセミアマウスの
肝臓の内因性抗酸化物質に及ぼす作
用 | 日本薬学会第122年
会 | 2002. 3 | 千葉 |

212. 山岡聖典, 光延文裕, 三朝ラドン温泉適応症の機構に関する 第39回理工学におけ 2002. 7 東京
御船尚志, 小島周二, 検討ーラドン高濃度熱気浴反復治療に る同位元素・放射線
森 秀治, 澁谷光一, よる抗酸化機能の変化特性ー 研究発表会
花元克巳, 野村崇治,
谷崎勝朗, 杉田勝彦
213. 光延文裕, 山岡聖典, 三朝ラドン温泉適応症の機構に関する 第39回理工学におけ 2002. 7 東京
御船尚志, 小島周二, 検討ーラドン高濃度熱気浴反復治療に る同位元素・放射線
花元克巳, 杉田勝彦, よる免疫機能の変化特性ー 研究発表会
谷崎勝朗
214. 野村崇治, 牧野奈緒, 先天的疾患モデルマウスに対する低線 第39回理工学におけ 2002. 7 東京
小田武志, 酒井一夫, 量放射線の作用 る同位元素・放射線
森 秀治, 汪 達紘, 研究発表会
吉良尚平, 山岡聖典
215. 山岡聖典, 光延文裕, 三朝ラドン温泉適応症の機構に関する 日本放射線影響学会 2002. 9 仙台
御船尚志, 小島周二, 検討ーラドン高濃度熱気浴反復治療に 第45回大会
澁谷光一, 花元克巳, よる変形性関節症の改善の機構ー
谷崎勝朗, 杉田勝彦
216. 光延文裕, 山岡聖典, 三朝ラドン温泉適応症の機構に関する 日本放射線影響学会 2002. 9 仙台
御船尚志, 小島周二, 検討ーラドン高濃度熱気浴反復治療に 第45回大会
花元克巳, 杉田勝彦, よる気管支喘息の改善の機構ー
谷崎勝朗
217. Yamaoka K, Activation of Chemical Biological International Sym- 2002.10 Aomori
Nomura T, Defense Mechanisms and Allevia- posium on Biologic-
Kojima S tion of in vivo Oxidation Injury by al Effects of Low
Low Dose Radiation Dose Radiation
218. Ishida H, Low-dose γ -rays Activate Immune International Sym- 2002.10 Aomori
Nakayama K, Functions, Leading to Suppression posium on Biologic-
Kojima S, of Tumor Growth al Effects of Low
Yamaoka K Dose Radiation
219. 山岡聖典, 片岡隆浩, 無カタラーゼ症マウスにおける CCL₄ 日本過酸化脂質・フ 2002.10 徳島
川上百恵, 日南佳子, 誘導肝障害とこれに対する低線量X線 リーラジカル学会第
村上絵梨子, の緩和作用に関する基礎検討 26回大会
野村崇治, 田口勇仁,
石川哲也, 汪 達紘,
吉良尚平
220. 佐藤修平, 奥村能啓, 皮膚悪性腫瘍に対するセンチネルリン 第61回日本医学放射 2002. 4 神戸
赤木史郎, 金澤 右, パ節シンチグラフィの有用性 線学会学術大会総会
平木祥夫, 竹田芳弘

- | | | | | | |
|------|---|---|---|---------|-----|
| 221. | 奥村能啓, 佐藤修平,
満木久美, 田水敦子,
赤木史郎, 平木祥夫,
<u>竹田芳弘</u> | 甲状腺濾胞性病変の良悪性鑑別におけ
る T1-201 シンチグラフィの定量的評
価に関する検討 | 第61回日本医学放射
線学会学術大会総会 | 2002. 4 | 神戸 |
| 222. | 平 成人,
土井原博義,
白岩美咲, <u>竹田芳弘</u> ,
寺本 淳, 石部洋一,
吉富誠二, 高橋寛敏,
枝園忠彦, 平木祥夫,
清水信義 | Dynamic Multidetector-row CT によ
る乳癌の術前拡がり診断の検討
－乳房温存 5 例における病理切片像と
の対比－ | 第10回日本乳癌学会
総会 | 2002. 7 | 名古屋 |
| 223. | 佐藤修平, 奥村能啓,
田頭周一,
安井光太郎,
赤木史郎, 金澤 右,
平木祥夫, <u>竹田芳弘</u> | 微量の右左シャントは肺血流シンチグ
ラフィによって診断し得るか？ | 第15回臨床核医学研
究会 | 2002. 7 | 岡山 |
| 224. | 黒瀬太一, 奥村能啓,
佐藤修平, 赤木史郎,
<u>竹田芳弘</u> , 金澤 右,
平木祥夫 | 肺気腫患者における Lung Volume
Reduction Surgery (LVRS) 前後 Xe-
133 肺換気シンチグラフィでの肺機能
評価 | 第42回日本核医学会
総会 | 2002.11 | 神戸 |
| 225. | 白岩美咲, 山代 寛,
小松めぐみ,
石原節子, <u>竹田芳弘</u> ,
平木祥夫 | 異時性対側乳癌の早期発見にマンモグ
ラフィが有用であった 1 例 | 第12回日本乳癌検診
学会総会 | 2002.11 | 鹿児島 |
| 226. | 小西 均, <u>中村隆夫</u> ,
辻 博明 | 足踏み測定による歩行能力の評価 | 第25回日本 ME 学
会中国四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |
| 227. | <u>丸山敏則</u> , 山本秀樹 | 片面増感紙／片面乳剤フィルムシステ
ムにおける X 線量の空気減弱補正につ
いて | 日本産業技術教育学
会中国支部大会 | 2002. 5 | 岡山 |
| 228. | <u>丸山敏則</u> , 山本秀樹 | 医療用 X 線フィルムの粒状度測定 | 電子情報通信学会
ME とバイオサイバ
ネ ティ ッ ク ス
MBE2002 | 2002. 7 | 岡山 |
| 229. | <u>丸山敏則</u> , 山本秀樹 | 医用 X 線フィルムの粒状度計測 | 電気・情報関連学会
中国支部連合大会 | 2002.10 | 島根 |
| 230. | <u>丸山敏則</u> , 山本秀樹 | 画像解析による X 線フィルムの粒状度
測定 | 日本 ME 学会中国
四国支部大会 | 2002.11 | 岡山 |

231. 木村勇氣, 花元克巳, WO₃ 薄膜の結晶化
中田俊隆, 中山康之,
増内千尋 日本物理学会第56回 2001. 3 東京
年次大会 (中央大)
232. Kimura Y, Irradiation effect of synchrotron
Hanamoto K, radiation on crystallization of thin
Nakayama Y, amorphous WO₃ film The 13th Interna- 2001. 7-8 Kyoto
Kaito C tional Conference
on Crystal Growth
233. 花元克巳, 加藤博和, 腔内加温の SAR 分布シミュレーショ
築山 巖, 澁谷光一, ン 日本ハイパーサーミ 2002. 9 名古屋
川崎祥二, 黒田昌宏, ア学会第19回大会
平木祥夫
234. 花元克巳, 光延文裕, 吸入ラドンの体内動態に関する検討
澁谷光一, 永松知洋, - 実験方法の確立に向けての試み- 日本放射線影響学会 2002. 9 仙台
汪達紘, 吉良尚平, 第45回大会
山岡聖典
235. 井内洋介, 内藤博昭, 位相コントラスト・シネ MR 法によ
小縣裕二, 東 将浩, る解離大動脈の拡大傾向の評価 第55回心臓血管放射 2002. 7 弘前
濱田星紀, 上甲 剛 線研究会
236. Inai Y, Naito H, Aortic Dissection; Quantitative 88th Scientific 2002.12 Chicago
Ogata Y, Blood Flow Analysis for the Eva- Assembly and (USA)
Ueguchi N, luation of Expanding Tendency of Annual Meeting.
Yamamoto S, the False Channel Using Cine Radiological Society
Johkoh T Phase-contrast MR Imaging of North America
(RSNA2002)
237. 楠原俊昌, 中村隆夫, 嚥下活動評価のための嚥下音の特性に
森 恵子, 山本尚武 関する検討 第41回日本 ME 学 2002. 5 京都
会大会
238. 楠原俊昌, 中村隆夫, 嚥下障害者におけるインピーダンス咽 電子情報通信学会 2002. 7 岡山
森 恵子, 山本尚武 頭図 (IPG) の波形に対する考察 ME とバイオサイバ
ネティックス研究会
239. 楠原俊昌, 中村隆夫, インピーダンス咽頭図 (IPG) による食 平成14年度電気関係 2002.10 詫間
森 恵子, 山本尚武 道癌患者嚥下機能評価 学会四国支部連合大 会 (香川)
240. 楠原俊昌, 中村隆夫, 嚥き動作を伴う嚥下活動に対するイン 第25回日本 ME 学 2002.11 岡山
森 恵子, 山本尚武 ピーダンス咽頭図 (IPG) の適応法 会中国四国支部大会

Ⅳ. 講演

演 者	演 題	講 演 会 名	講演年月	場所
1. <u>川田智恵子</u>	ヘルスアセスメントの理論と実践	徳島県健康度評価指導者研修会	2002. 2	徳島
2. <u>川田智恵子</u>	健康生活を楽しむには	岡山中央ロータリークラブ市民公開講座 岡山高齢者セミナー	2002. 3	岡山
3. <u>川田智恵子</u>	健康は自分でつくる, 家族でつくる, みんなでつくる	社会医療福祉法人恵風会家族会講演会	2002. 4	岡山
4. <u>川田智恵子</u>	健康な高齢期の生活をめざして	岡山市立津高公民館 高齢者教室	2002. 5	岡山
5. <u>川田智恵子</u>	ヘルスケア提供システム論	鳥取県看護協会	2002. 7	鳥取
6. <u>川田智恵子</u>	健康教育・ヘルスプロモーションの考え方	岡山県看護協会	2002. 8	岡山
7. <u>川田智恵子</u>	健康教育とヘルスプロモーション	地域社会振興財団研修	2002. 9	河内 (栃木)
8. <u>川田智恵子</u>	総合ヘルスケア支援－岡大病院に求められるもの－	岡山大学医学部附属病院公開講座	2002.11	岡山
9. <u>太田武夫</u>	歯牙酸蝕症の産業保健管理	第30回産業歯科医研修会基礎コース	2002.12	鳥取
10. <u>奥田博之</u>	中高年の健康外来－のぼせ, ほてりそして肥満－	鳥取県東伯郡三朝町健康教育講座	2002. 3	三朝町 (鳥取)
11. <u>加藤久美子</u>	ヒューマンリレーション看護実習の教育効果とそれを支えた臨床指導	国立療養所邑久光明園看護師長会	2002. 3	岡山
12. <u>加藤久美子</u>	シンポジウム「大学間での教育面での連携を考える」	岡山県看護系大学協議会	2002. 9	岡山
13. <u>小野清美</u>	病院トイレのアメニティについての一考察	癒しの環境研究会	2002. 7	岡山
14. <u>小田 慈</u>	小児がん治療最前線	鳥取大学医学部特別講演	2002. 6	米子

15.	<u>小田 慈</u>	レセプトから見えてくるもの	平成14年度国立大学 病院医療保険事務専 門研修会	2002.11	岡山
16.	<u>林 優子</u>	腎不全医療におけるチームアプローチ と看護専門職の動向	第29回長崎県人工透 析研究会	2002. 2	諫早
17.	<u>林 優子</u>	臓器移植患者と家族のスピリチュアリ ティの視点 アメリカにおける現場で の取り組みから	日本集中医療医学会 第24回大会	2002. 3	岡山
18.	<u>深井喜代子</u>	看護技術を科学する	日本看護協会神戸研 修センター研修会	2002. 2	神戸
19.	<u>深井喜代子</u>	疼痛看護	国立療養所西奈良病 院附属看護学校特別 講演	2002. 2	奈良
20.	<u>深井喜代子</u>	看護技術と EBN	広島県看護協会研修 会	2002. 5	広島
21.	<u>深井喜代子</u>	便秘のはなし	岡山県病院薬剤師会 定例学術講演会	2002. 7	岡山
22.	<u>深井喜代子</u>	看護実践と EBN	敦賀市看護専門学校 職員研修会	2002. 8	敦賀
23.	<u>深井喜代子</u>	EBN に基づく基礎看護学の教育	メヂカルフレンド社 講演会「明日の看護 学教育を考える」	2002.10	東京
24.	<u>深井喜代子</u>	EBN - 看護実践と看護研究をつなぐ	看護協会倉敷支部看 護研修会	2002.11	倉敷
25.	<u>安酸史子</u>	子ども達のやる気を高める関わり方	尼崎市立昭和中学校	2002. 1	尼崎
26.	<u>安酸史子</u>	患者心理の理解に基づく学習援助型患 者教育の実践	山形糖尿病患者教育 研究会	2002. 1	山形
27.	<u>安酸史子</u>	事例に学ぶ「学生と共に創る臨地実習 教育」- 役割移行に伴う実践内容の変 化 -	愛媛松山日赤看護学 校	2002. 1	松山
28.	<u>安酸史子</u>	経験型実習教育における教材化の実践	香川県看護協会	2002. 2	高松

29.	<u>安酸史子</u>	よりよい看護者としての成長をいかに 援助するか	山口赤十字病院	2002. 2	山口
30.	<u>安酸史子</u>	学生とともに創る臨地実習教育	慈恵医科大学看護学 部	2002. 2	東京
31.	<u>安酸史子</u>	腹膜透析患者の自己効力を高める患者 教育の実際	岡山 HD 研究会	2002. 2	岡山
32.	<u>安酸史子</u>	学生と共に学ぶ臨地実習指導のあり方	名古屋豊橋看護専門 学校	2002. 3	名古屋
33.	<u>安酸史子</u>	糖尿病のストレス軽減に必要なケアの ポイント	岡山糖尿病フォーラ ム	2002. 3	岡山
34.	<u>安酸史子</u>	楽しい実習指導をめざして	平塚共済病院	2002. 3	神奈川
35.	<u>安酸史子</u>	健康教育・ヘルスプロモーションの考 え方と実践への活用	第11回地域保健・医 療・福祉活動に関す る研究会	2002. 3	岡山
36.	<u>安酸史子</u>	臨地実習における教育方法	国立岡山病院	2002. 4	岡山
37.	<u>安酸史子</u>	経験型実習における実習指導方法	大島看護専門学校	2002. 4	山口
38.	<u>安酸史子</u>	CAPD 患者教育	岡山 CAPD 研究会	2002. 5	岡山
39.	<u>安酸史子</u>	実習場面の教材化の実際	山内赤十字病院	2002. 6	山口
40.	<u>安酸史子</u>	学生の感じる心を大事にする実習指導 のあり方	福岡県立看護専門学 校	2002. 6	福岡
41.	<u>安酸史子</u>	透析患者の心理と相談・支援技術	広島透析看護研究会	2002. 6	広島
42.	<u>安酸史子</u>	患者教育研修	第14回全国労災病院 患者教育研修会	2002. 6	東京
43.	<u>安酸史子</u>	実習指導概論	日本精神看護技術協 会実習指導者研修会	2002. 7	福岡
44.	<u>安酸史子</u>	プリセプターナースの知恵袋 目から ウロコ! の理論と実践	メディカ出版主催講 演会	2002. 7	大阪
45.	<u>安酸史子</u>	新しい実習教育への模索－経験型実習 教育について－	沖縄県看護協会	2002. 8	沖縄

46.	<u>安酸史子</u>	健康推進	岡山大学公開講座	2002. 8	岡山
47.	<u>安酸史子</u>	患者教育に必要な教育技法	認定看護師(糖尿病看護)講義	2002. 8	東京
48.	<u>安酸史子</u>	臨地実習における学習指導の実際	厚生労働省看護研修センター同窓会(鹿児島県支部)研修会	2002. 8	鹿児島
49.	<u>安酸史子</u>	ヘルスプロモーションの理論と実践	岡山県看護協会	2002. 8	岡山
50.	<u>安酸史子</u>	学習援助型ですすめる看護学基礎教育－学生のやる気・自信を高める－	メディカ出版主催講演会	2002. 8	東京
51.	<u>安酸史子</u>	看護大学における看護教育の現状	中国地区国立病院・養成所教育主事協議会	2002. 8	広島
52.	<u>安酸史子</u>	認知行動心理学的アプローチ	広島県看護協会セカンドレベル講習会	2002. 8	広島
53.	<u>安酸史子</u>	自己効力を高める患者教育の実際	テルモ主催 CAPD 研修会	2002. 9	京都
54.	<u>安酸史子</u>	実習指導概論	岡山県実習指導者講習会	2002. 9	岡山
55.	<u>安酸史子</u>	カンファレンスの効果的な運営について	京都国立宇多野病院	2002. 9	京都
56.	<u>安酸史子</u>	臨地だからできる実習指導－指導事例からアプローチを考える－	大阪南国立病院	2002. 9	大阪
57.	<u>安酸史子</u>	生活の援助について	国立米子病院	2002. 9	米子
58.	<u>安酸史子</u>	実践能力を高める臨地実習－学生・指導者間のケアリングを通して－	国立呉病院付属看護専門学校	2002. 9	呉
59.	<u>安酸史子</u>	患者教育について学ぼう	米子労災病院	2002. 9	米子
60.	<u>安酸史子</u>	生活習慣の改善に関わる患者教育とセルフエフィカシー	自治医大地域医療振興財団	2002. 9	栃木
61.	<u>安酸史子</u>	学生とともに創る臨地実習教育－経験型実習－	国立東静病院附属看護学校	2002.10	三島

62.	<u>安酸史子</u>	患者教育について学ぼう	愛媛労災病院	2002.10	愛媛
63.	<u>安酸史子</u>	実習指導場面から効果的な指導方法について考える	国立療養所刀根川病院附属看護学校	2002.10	大阪
64.	<u>安酸史子</u>	学生・指導者ともにやる気を高める臨地実習－ケアリングを指導に活かす－	西宮看護専門学校	2002.10	西宮
65.	<u>安酸史子</u>	患者教育技術	兵庫県看護協会	2002.10	神戸
66.	<u>安酸史子</u>	経験型実習教育について	愛知医科大学看護学部看護教育ワークショップ	2002.11	名古屋
67.	<u>安酸史子</u>	患者教育におけるエンパワーメントの重要性と実践	第四回中国四国地区CAPD ナース座談会	2002.11	岡山
68.	<u>安酸史子</u>	自己効力理論の看護への適用	富山県看護教育機関連絡協議会秋期研修	2002.11	富山
69.	<u>安酸史子</u>	教育的環境と臨床指導者の関わり	広島市立3病院看護職員校H14臨床指導者研修会	2002.11	広島
70.	<u>安酸史子</u>	スタッフ教育場面の教材化	山口赤十字病院	2002.11	山口
71.	<u>安酸史子</u>	患者様の日常生活援助の重要性を考える	国立浜田病院附属看護学校	2002.11	浜田
72.	<u>安酸史子</u>	看護する私を育て続けるために	岡山労災病院	2002.12	岡山
73.	<u>安酸史子</u>	慢性疾患患者へ活かすその人らしさへの援助	広島県看護協会	2002.12	広島
74.	<u>安酸史子</u>	「経験型」実習教育について	日本医科大学千葉看護専門学校	2002.12	千葉
75.	<u>秋元典子</u>	看護の本質	埼玉県看護教員養成講習会	2002. 5	さいたま
76.	<u>秋元典子</u>	実習指導の実際	埼玉県看護協会講習会	2002. 6	さいたま
77.	<u>秋元典子</u>	実習指導の本質と実践	石川県看護協会実習指導者講習会	2002. 9	金沢

78.	<u>秋元典子</u>	看護の力	和歌山県立医科大学 附属病院看護部	2002.10	和歌山
79.	<u>西田真寿美</u>	看護研究の理論と方法：看護実践に活かすために	神鋼病院看護研究研 修会	2002. 7	神戸
80.	<u>西田真寿美</u>	老年痴呆性疾患患者への関わり方	日本精神科看護技術 協会岡山県支部老年 期精神科看護研修会	2002.12	岡山
81.	<u>岡野初枝</u>	協町の健康づくりと協力員の活動	特定町村保健活動推 進事業	2002. 3	協町 (徳島)
82.	<u>太田にわ</u>	家族看護論	おおもと病院看護部 研修	2002. 3	岡山
83.	<u>太田にわ</u>	病気の子どもとその兄弟姉妹との関わりについて	がんの子供を守る会 関西支部	2002. 7	大阪
84.	<u>太田にわ</u>	家族看護	岡山大学医学部附属 病院看護部研修	2002.10	岡山
85.	<u>合田典子</u>	「看護教育課程」(助産師課程)	平成14年度岡山県実 習指導者講習会	2002. 8	岡山
86.	<u>池田敏子</u>	看護研究	国立病院岡山医療セ ンター看護部	2002. 5	岡山
87.	<u>池田敏子</u>	事例検討 I	岡山大学医学部附属 病院看護部	2002. 9	岡山
88.	<u>池田敏子</u>	論文の書き方	国立病院岡山医療セ ンター看護部	2002.11	岡山
89.	<u>樋口まち子</u>	地域保健活動の評価とは	平成13年度岡山県保 健師専門研修会	2002. 2	岡山
90.	<u>樋口まち子</u>	ヘルスプロモーションの考え方と動向	福島県立看護大学大 学院特別講演	2002. 3	福島
91.	<u>Higuchi M</u>	Effective Qualitative Research in Field Work	Special lecture for academia in Popula- tion and Social Re- search Institute, Mahidol University	2002. 3	Bangkok (Thailand)

92.	<u>Higuchi M</u>	Traditional Health Behavior in Sri Lanka	Special lecture for Faculty members and Ph. D. students in Faculty of Nursing, Khon Kaen University	2002. 3	Khon Kaen (Thailand)
93.	<u>樋口まち子</u>	保健医療分野における国際協力	国際協力事業団 JOCV 説明会特別講演	2002. 4	岡山
94.	<u>樋口まち子</u>	国際協力における異文化理解	神戸看護研修センタージェネラリストの教育「世界の保健と看護活動」	2002. 6	神戸
95.	<u>Higuchi M</u>	Developing Action Plan in Nursing with PDM strategy in your country	Seminar of JICA Counterpart in Nursing from Developing Countries	2002. 7	Tokyo
96.	<u>樋口まち子</u>	Primary Health Care を基盤にした看護のパートナーシップ：Cooperation から Collaboration へ	第17回日本国際保健医療学会	2002. 8	神戸
97.	<u>樋口まち子</u>	看護研究「質的研究」	平成14年度岡山県実習指導者研修会	2002. 8	岡山
98.	<u>樋口まち子</u>	家族という人間関係	岡山市国際交流フェスティバル基調講演	2002.11	岡山
99.	<u>樋口まち子</u>	保健活動の評価－評価指標の考え方	平成14年度岡山県保健師専門研修会	2002.11	岡山
100.	<u>Higuchi M</u>	Effective Community Assessment	Specialty Program of Primary Care Nursing Practitioner, Institute of Nursing, Walailak University	2002.11	Nakhon Sitammarat (Thailand)
101.	<u>Higuchi M</u>	Cultural Diversity and Complementary Care in Nursing	Specialty Program of Primary Care Nursing Practitioner, Institute of Nursing, Walailak University	2002.11	Nakhon Sitammarat (Thailand)

102.	<u>Higuchi M</u>	International Collaboration in Community Nursing	Specialty Program of Primary Care Nursing Practitioner, Institute of Nursing, Walailak University	2002.11	Nakhon Sitammarat (Thailand)
103.	<u>Higuchi M</u>	Effective Qualitative Research in Nursing	Post Graduate Students and Faculty Members, Faculty of Nursing, Rangsit University	2002.12	Bangkok (Thailand)
104.	<u>Higuchi M</u>	Alternative Medicine in Health Promotion	Special lecture for the Faculty, The Thai Red Cross Nursing College	2002.12	Bangkok (Thailand)
105.	Tanaka K, Tanaka T, <u>Hyodo Y</u>	Is Japanese Aging Western or Eastern? The Cultural Context of Social Support Networks of the Japanese Elderly	XXV International Congress of Applied Psychology "Health Psychology and QOL"	2002. 7	Singapore
106.	<u>三木明子</u>	病院看護職のストレス調査と対策	第44回産業精神衛生研究会シンポジウム	2002.10	東京
107.	<u>三木明子</u>	看護研究	日本精神科看護技術協会岡山県支部看護研究研修会	2001. 5 ～12	岡山
108.	<u>中田安成</u>	サルコイドーシスの臨床	岡山県難病患者の会	2002. 7	岡山
109.	<u>片岡幹男</u>	特別報告「サルコイドーシス患者肺胞リンパ球の P. acnes の反応」	第22回日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会総会	2002.11	岡山
110.	<u>岡 久雄</u>	虚血性筋痛の診断技術の開発	第30回岡山生体機能検査研究会	2002. 7	岡山
111.	<u>岡 久雄</u>	生体物性の計測法	医歯学総合研究科生理学特別講義	2002.11	岡山
112.	<u>住本哲宏</u>	乳房X線撮影における医療被曝	第2回医工学際研究・交流会	2002.12	弓削

113.	<u>白井喜代子</u> , <u>山本尚武</u> , <u>奥田博之</u>	各種皮膚水分センサと女性の前腕表皮 角質層の水分変動	第14回日本ME学 会秋季大会	2002.11	福岡
114.	内田伸恵, 森山正浩, 川口篤哉, 北垣 一, <u>加藤博和</u> , 笠井俊文	RF 組織内加温法の開発と臨床応用 ー組織内照射との併用ー	日本ハイパーサーミ ア学会第19回大会	2002. 9	名古屋
115.	<u>上者郁夫</u>	診断「婦人科」	第13回放射線科専門 医1次試験講習会	2002. 7	東京
116.	<u>上者郁夫</u>	ここまでわかる最新画像診断	平成14年度岡山大学 公開講座	2002. 7	岡山
117.	<u>上者郁夫</u>	子宮体癌のMR 画像	JSAWI 2002	2002. 9	東浦町 (兵庫県)
118.	<u>中桐義忠</u>	医療放射線被曝の防護	日本放射線技師会放 射線管理士認定講習 会	2002.12	岡山
119.	<u>山岡聖典</u>	低線量放射線による疾患モデルマウス の症状緩和作用の可能性	電力中央研究所研究 発表会	2002. 3	東京
120.	<u>山岡聖典</u>	低線量放射線の不思議な生体作用ーラ ドン温泉が効く訳を探るー	北海道電力泊原子力 発電所研究発表会	2002. 5	泊 (北海道)
121.	<u>山岡聖典</u>	ラドン温泉の効能とその機構に関する 研究	大阪ニュークリアサ イエンス協会第17回 放射線科学研究会	2002. 6	大阪
122.	<u>山岡聖典</u>	低線量放射線の生体影響研究ー高パッ クグラウンド研究から宇宙研究へー: 高自然放射線環境の健康影響とその機 構	日本放射線影響学会 第45回大会ワークシ ョップ	2002. 9	仙台
123.	<u>山岡聖典</u>	ラドン療法に用いられる各種鉱石の放 射能特性	北投石保存会研究会	2002.12	東京
124.	<u>竹田芳弘</u>	腫瘍・炎症シンチグラフィの診断	第14回日本核医学技 術学会中国四国地方 会	2002. 6	岡山